ド級編隊
エグゼロス
HEXEROS
きただりょうま
2
JUMP COMICS SQ.

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。著者カラー原画に加え、著者の原画をもとに集英社で一部デジタル彩色を行った特別編集版です。

ド級編隊エグゼロス

H×EROS

×2

きただりょうま

JUMP COMICS SQ.

# H×EROS Characters

H×EROS　EROSをHネルギーに変え、キセイ蟲と戦うヒーローチーム。

## HXEPINK

### 桃園百花
エグゼピンク

何でもできる姉への対抗心から、ヒーローへの誘いを受けた。

## HXEYELLOW

### 星乃雲母
エグゼイエロー

幼い頃のトラウマで、エロに拒否反応を示す。烈人とまた一緒に居たいと思い、ヒーローに。

## HXERED

### 炎城烈人
エグゼレッド

幼馴染の雲母を変えてしまったキセイ蟲が許せなくて、ヒーローになる。雲母の事が好き。

# Story

地球はキセイ蟲による侵略を受け、かつてない危機に瀕していた。しかし、そんな敵と日夜戦い続ける少年少女の姿があった。彼らの名はH×EROS。そのメンバーである少年・烈人は、幼馴染の雲母と一緒に居たところ、キセイ蟲の襲撃に遭い、その戦いの中で雲母にもヒーローとしての素質がある事が判明する。かつてキセイ蟲に襲われ、Hネルギーを吸われた過去を持つ雲母はヒーローになる事を一度は拒むが、その時から疎遠になっていた烈人とまた一緒に居たいと思い、メンバーに加わるのだった!

**庵野 丈**

地球防衛隊サイタマ支部HERO課、課長。烈人の叔父。

**キセイ蟲**

人間のエロスの源"Hネルギー"を奪い、絶滅を目論む宇宙人。

HXEBLUE

**天空寺 宙**

エグゼブルー

時々、寝ぼけて烈人の布団に潜り込む天然系少女。

HXEWHITE

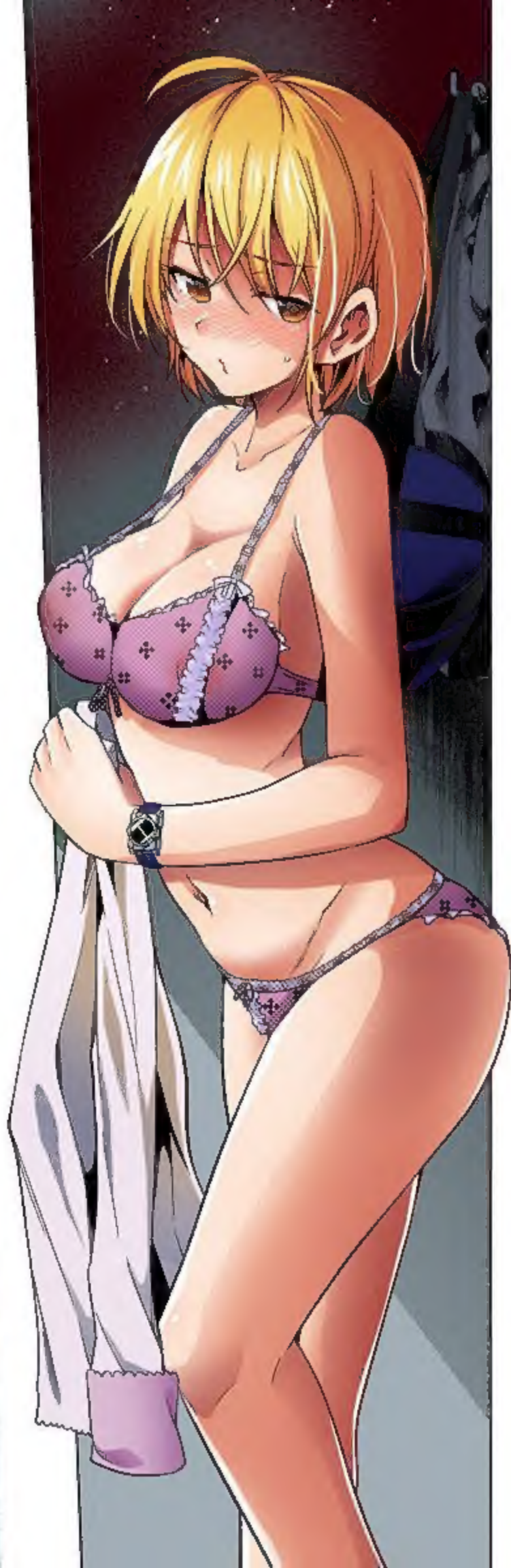
**白雪舞姫**

エグゼホワイト

いつも笑顔を絶やさない、大人しい女の子。

contents
HXEROS

# 第5話

# 夜は短し惚気よ乙女

時は この日の放課後に遡る―
いや～ それにしても まく～
まさか あの雲母が 勝負下着が欲しい なんて相談してくるとはねー
もういい でしょ…！
学校から ここまで散々 笑ったんだから…
別に笑ったん じゃなくて嬉し かったんだよ
雲母がまた そういうことに 興味持つように なって
だから別に そういう訳じゃ ないんだけど…

はいコレ選んどいたよ
ありがと……
でやっぱ相手は他校の人？
!?
うちのクラスの男子は皆まだガキだからねー
ちっ…違うって…！
じゃあ大学生とか──
まさか社会人じゃないでしょうね…!?
まそういうことにしといてあげよう
当たり前でしょ！

ッ!?
ほ…ホントにこれ…!?
勝負下着なんだからキワどければキワどい程いいの！
だからって…
これはちょっと
キュッ♥
攻めすぎじゃ…
いいじゃんどうせ好きな人にしか見せないんだから
べ…別に私は好きな人に見せる訳じゃないし…！
その方がどうかと思うよ雲母…

ありがとうございました〜

そういえば夕奈

放課後デートとか言ってなかった？

結局違うのにした

ああうん大丈夫

ちゃんと待ち合わせ場所はこの辺にしてもらったから

それにしても夕奈のデート相手って一体どんな人なんだろね…

ひそひそ

確かに…

あっ先輩！

やっほー夕奈

！

たっ

私も丁度今来たとこでぇ～
デレ
デレ
ゆ…夕奈らしいっちゃらしいな…
うん…
それじゃあ雲母っ！
頑張って♥
!
さ行きましょう先輩っ♥！
………
そういう陽香はどうなのよ？
!?
私はほら…部活優先だし…

現在——

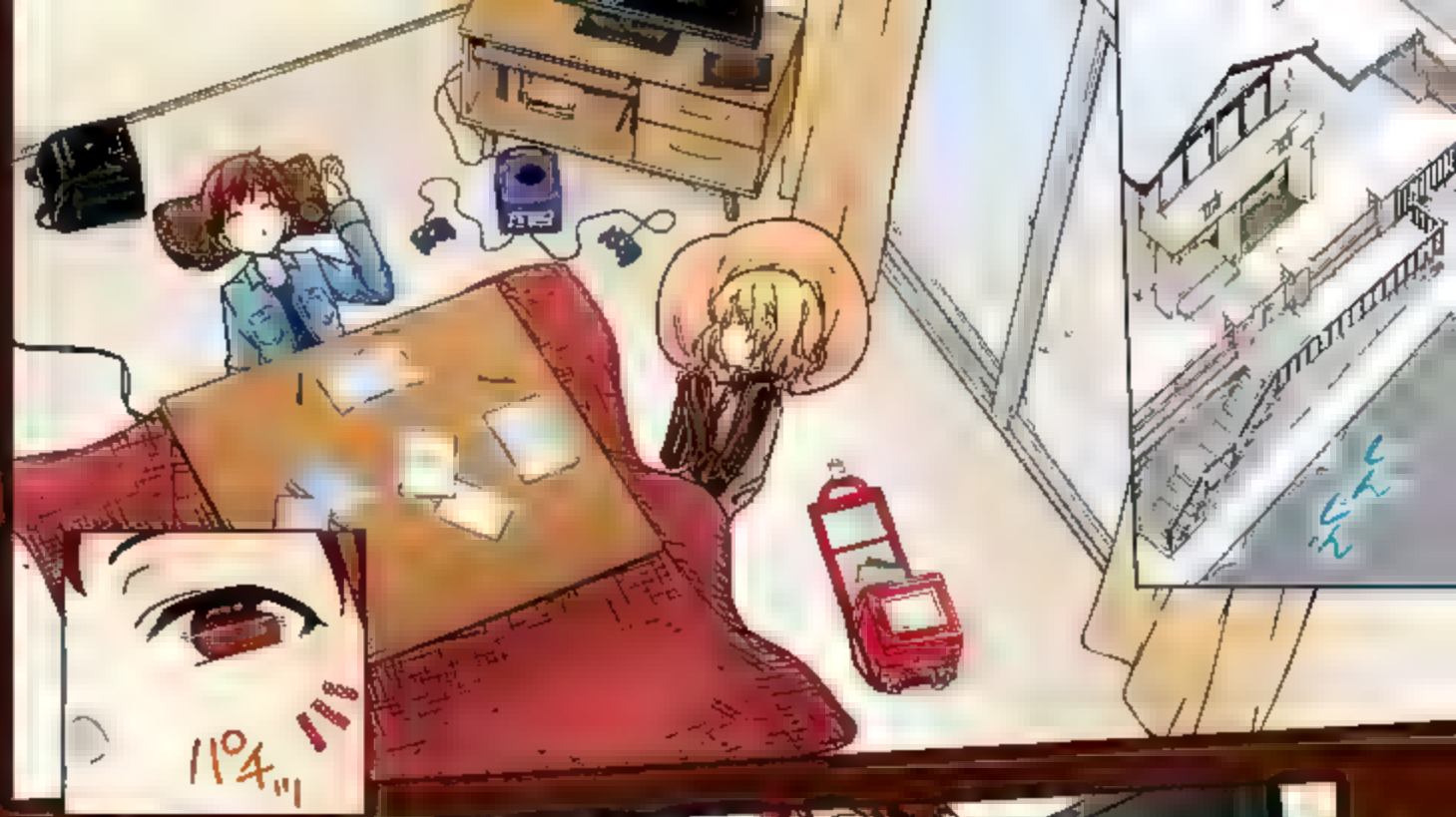
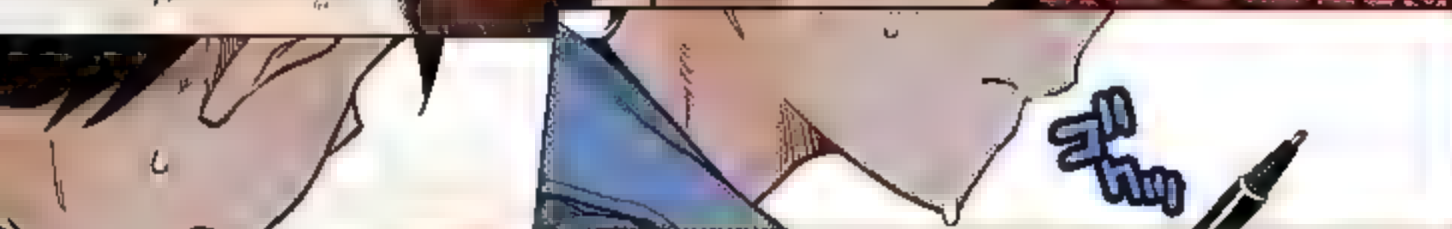
一体何が起こってるんだ……!?
なんであの星乃が下着姿で俺の部屋に…
いや……これは絶対俺の夢…
きっと連日振り回されっぱなしの俺に脳からご褒美が——

……………
…と……とりあえず横いい……?
あっはい
は!?
今なんて

言っとくけど…変な期待しないでよね…
コレは別にあんたのHネルギーの為じゃなくて…
私のHネルギーの為だから…

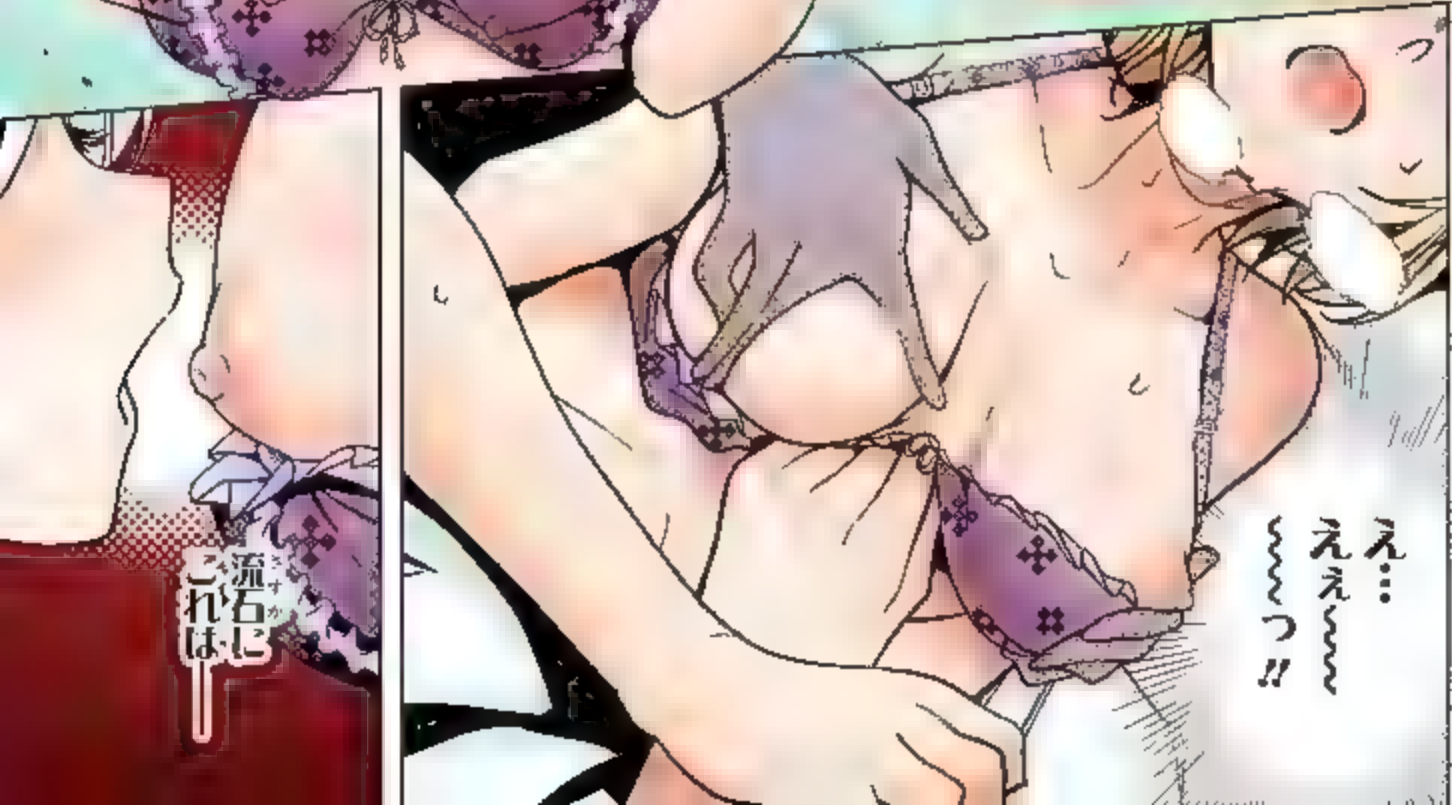
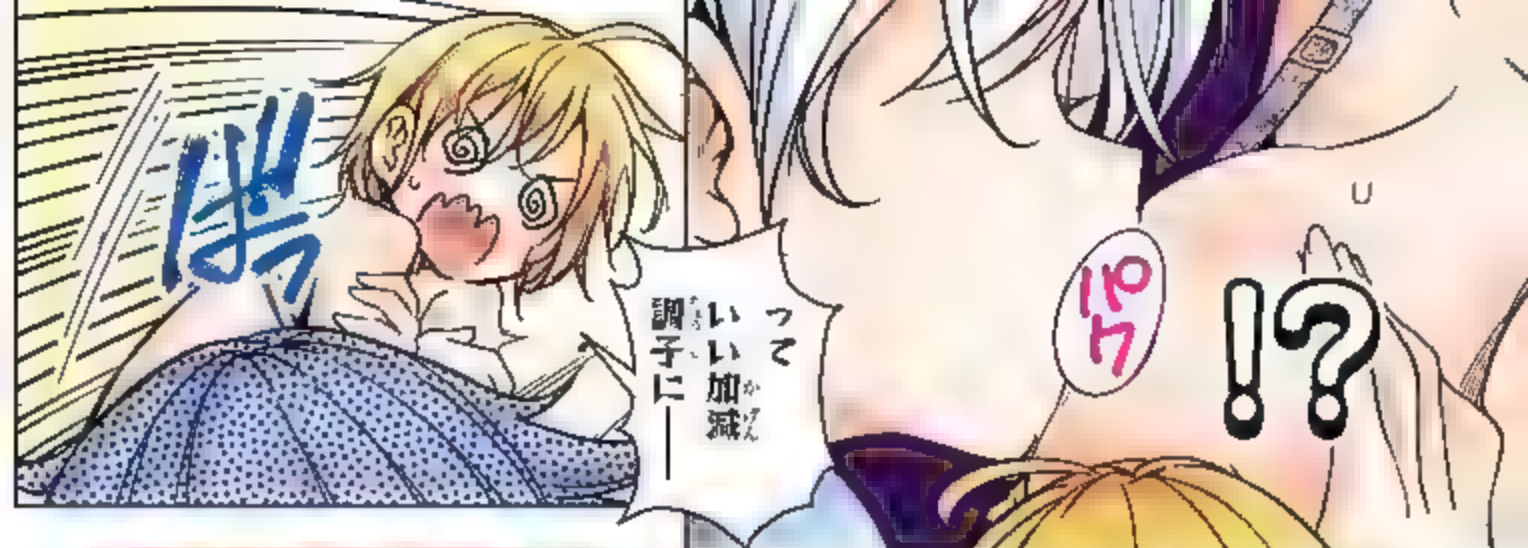
それにしてもその格好は…
!?
これはその…
その方が溜まりがいいからって…
桃園さんが…
アイツ〜〜ッ
だからって…絶対こっち向かないでね……!
わ…わかってるよ…!
どどど
ドキッ

ドキッ
どうしてこんなことに――
ドキッ
そういや昔も
こうして星乃と二人っきりで寝たことがあったっけ…

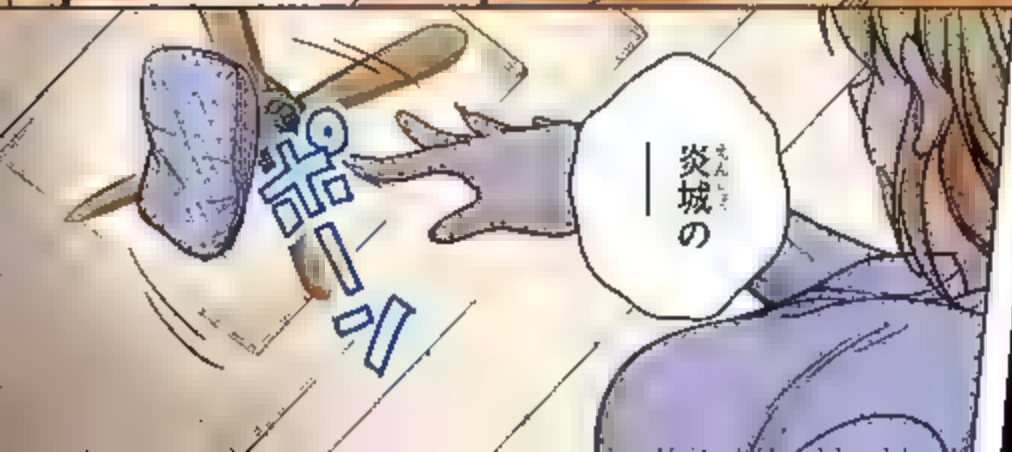
しんしん
パチッ
むくっ
いっけね
宿題の途中なのに
寝ちゃってた
星乃の奴から
誘ってきたのに
自分も寝てるし
ピコーン
いつも
弄られてる
お返しに
顔に落書きして
笑って
やるぜ…！
そーっ

…
…
今まで こんな
マジマジ
見たこと
なかったけど
コイツ…
無防備だと
こんな顔
してるのか…
ゴトッ

ブッ
あっはっはっ！
おっかしー なぁに？ れっくん
さっきから固まって…
一体何をしようとしてたのかなぁ？
ニヤ ニヤ
は…
はぁ!?
たった ただ寝顔が可笑しかったから落書きしよーとしただけだよ！
ふーん
それじゃ いいよ… …しても…

はい
ドーゾ
う…
ドキッ
うおおおおっ!!
……
ぐしゃ
ぐしゃ
あーもう
なんだか気が
済んだわ…!
それじゃ
おやすみっ!
ぱっ
ヘタレ

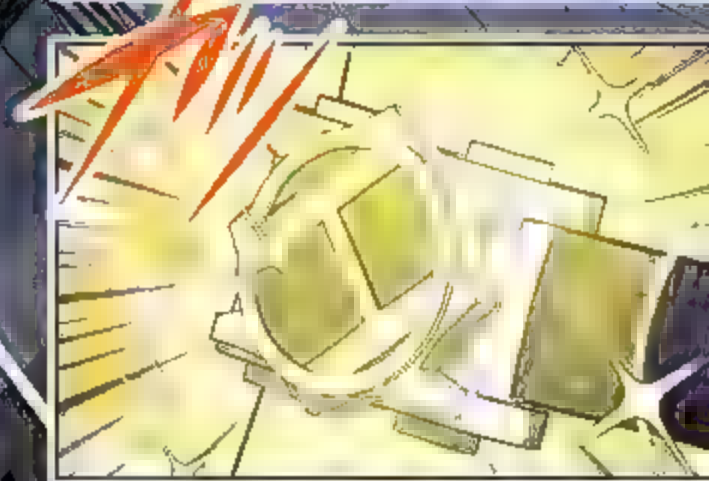
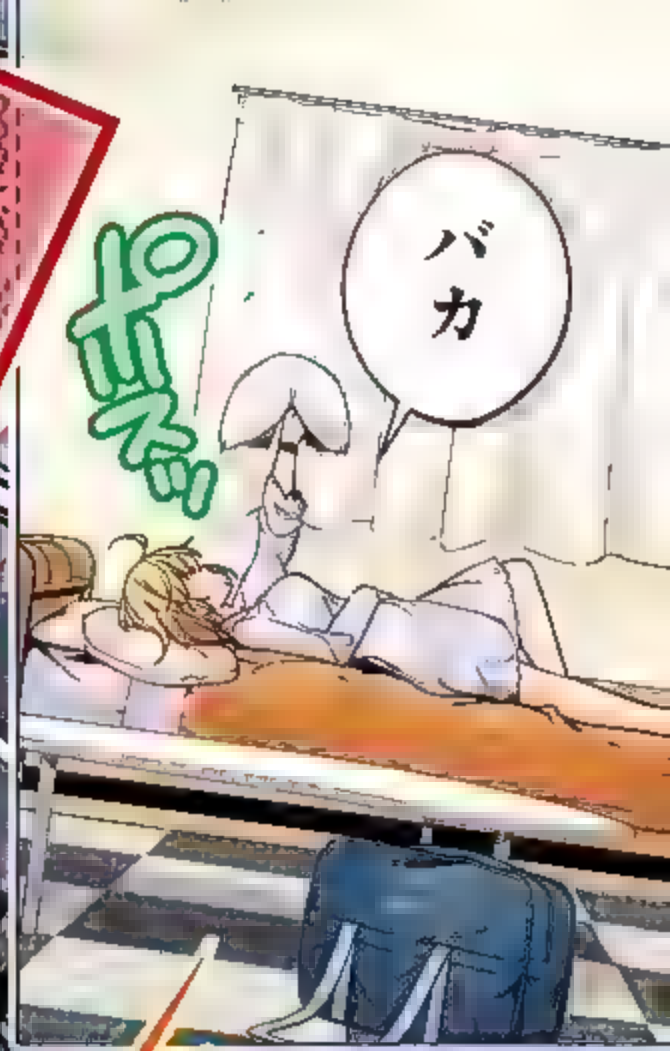
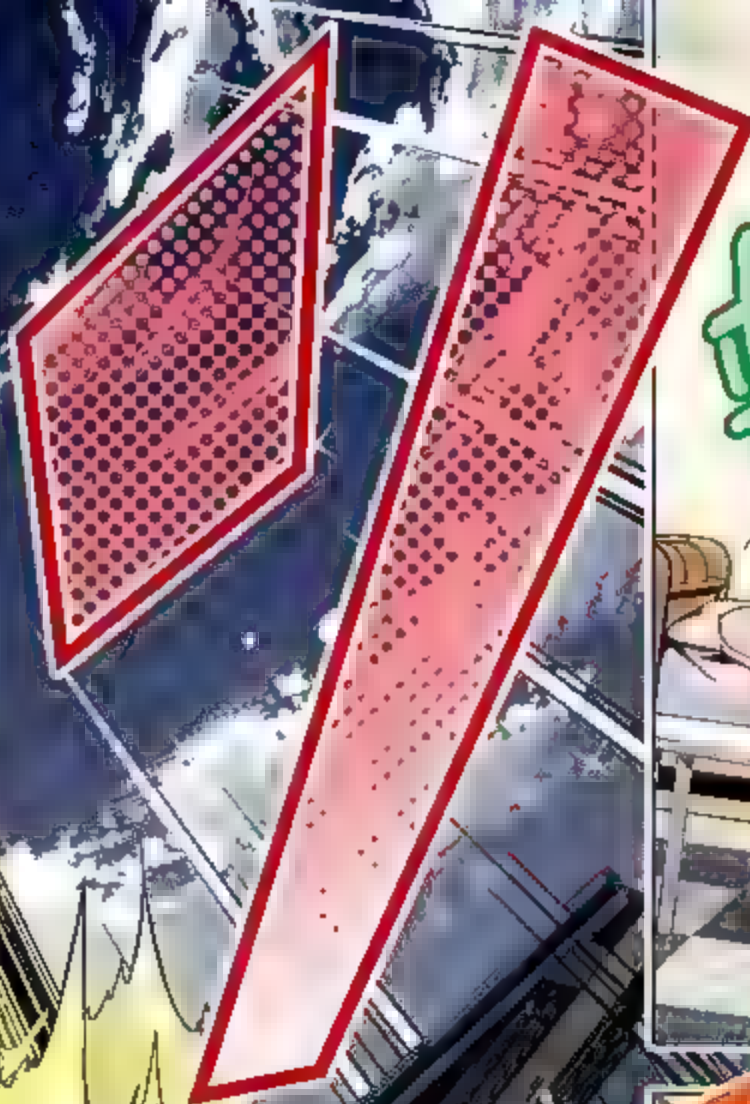
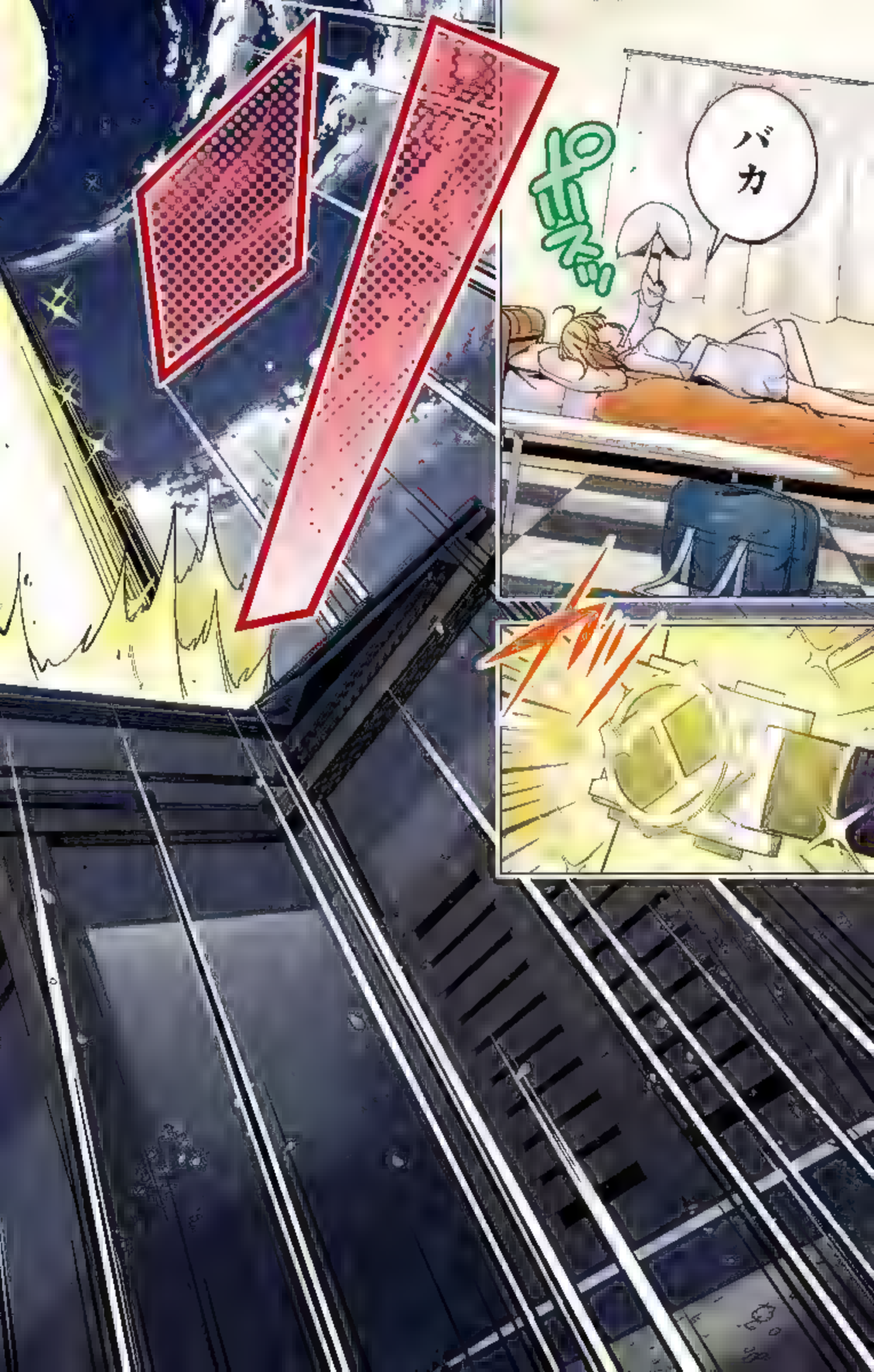
まさか この状況で
あの黒歴史のことを
思い出すなんて…
あの頃は
なんとも
無かったけど…
私たちは
もう…
小学生じゃ
無い訳で…
すっ
えっ…
炎城…!?
むにっ

たっ…たたた
確かにこっち
向かないでって
言っただけで…
触らないで
とは言って
ないけど…
まさか炎城が
こんなこと
するなんて…
んッ…
他の部屋に
聞こえちゃう
し……!
Hネルギーの
為とはいえ…
…声は…我慢
しないと…
ムニュ♥
むにゅ♥
!?
ピクッ
ポロン
え…
ええ〜〜〜
〜〜っ!!
流石に
これは—

パク
!?
っていい加減調子に——
ぱッ
おなかいっぱい…
は?

むにゃ むにゃ…
またお前か天空寺!!
あれ…?
そんなことより いつから そこに…!?
二人共… 宙の部屋で 何してるの…?
トイレから 帰ってきてから ずっと寝てたよ…?
だからお前の部屋は向かいだって…!
ってことは 最初から——!?

二人で何してたの？
わっ…私も自分の部屋と間違えちゃって…
あせっ
あせ
まままったく気をつけてくれよー（棒）
ほら天空寺　お前もさっさと自分の部屋に戻っとけ！
あははっそれじゃあ失礼しましたッ…
眠いからだっこしてって
おいッ引っ付かないで自分で歩けっ‼
えー
ミシッ
よじっ

…はぁ…
あれだけ覚悟して行ったのに
そもそも なんでもう先に他の女の子が部屋にいるのよ…！
結局中途半端な感じで終わっちゃった…
炎城の
ポローッ

バカ

あ…
パラパラ

し〜ん
はっ!?
せっかく溜めたHネルギーも
買ったばかりの下着も無駄にしちゃった…
頑張って勇気出したのに〜〜〜っ!
へたっ…
後日——
まさかあの強化防壁を貫くとは
やはり君の素質は素晴らしい!
全っ然嬉しくないんですけど…!
うっっ

第6話
早乙女女学院の白雪姫

キショショ…ついに捕らえたぞエグゼホワイト
さあ命が惜しくば仲間の居場所を吐きなさい
くッ…
そんなの…絶対に言いません…！
ふに
!?
ここはこんなに柔らかいくせに口だけは堅いようだな…

お前のような身体の人間は存在自体がキセイ対象だからね…
もう二度と我々に逆らえないように
この触手で徹底的に懲らしめてやろう…!
んっ…!
ここまでですか…
百花ちゃん
宙ちゃん
星乃さん
炎城さん
ごめんなさい…

ヴヴヴヴヴヴ
ん…
ヴヴヴヴ
何してるのルンバちゃん…？
ペロペロ
べ
ろーっ

ジイーッ
もうっ
ルンバちゃんの所為で変な夢見ちゃったじゃないですか…
ヴォオオオオォォ
モフッ
おはっすー
ガラ
おっ…おはようございます
ちょっと顔洗わせてくれ
ずい
ピトッ
ひゃんッ♡
ガシャン
!?

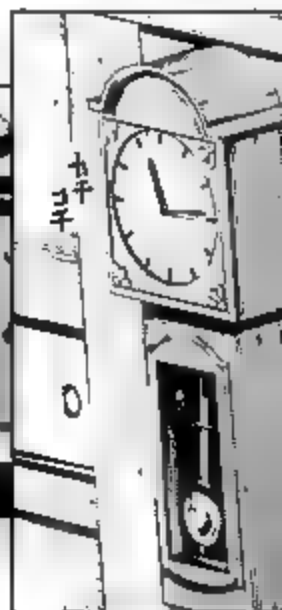
私の名前は白雪舞姫
どこにでもいるような普通の女子高校生
兼HEROです
まだドキドキしてます…
おっはよー舞姫っ！
ペローン
ふあッ!?
オレンジってことは今日は火曜日か
人の下着をカレンダー代わりにしないでくださいっ！
誰かに見られたらどうするんですかー!!

いいじゃん
いいじゃん
もう学校の敷地の中なんだし
彼女は保谷千夜
おっはー
この早乙女女学院のプリンス的存在にして
私の幼馴染です
もうっ千夜ちゃんったら…
そういや今日はいつもの黒タイツは？
!?
今朝はちょっとドタバタしてて…っ！
ちなみになぜこうもドジで特技も長所もない私がHEROなんかになれたのかというと――
書道室

ふぅっ…

平常心…

平常心

ふうっ…
こんなもん
かな
はぁ～…
流石
千夜様
何を
やらせても
達者ですぅ～
どう？
舞姫は
って
いつまで
すってんの
…？
はっ！
大丈夫？
なんだか今日
顔赤くない？
そっ
そうですか…？
別になんとも
ないですけど…
またまた
強がっちゃ
ってー！
もしかして
足でも痺れて
るとか？
つんっ

はあぁん……ッ♥
カァァアァッ
しし
あ…ごめ…
私達ヒーローチーム
エクゼロスは
人のEROSを
感じる素質が
力になるらしく
だからなんの
取り柄もない私が
HEROを名乗れて
いるんです…
やっぱり今朝の
夢の所為でちょっと
おかしいみたい…
今日は
大人しく
してないと…
はーっ
次の時間
体育だぞ？
へ…？
どした？
まだ着替え
ないの 舞姫

♪
ビシッ!!
お美しい…
やっぱスポーツ 学問 芸術 なんでも 出来るわよね 千夜様は…
キャー!♥
キャー♥
それに引き換え

声小さいよー白雪さんー
すっすみません…っ
ガッ
あいたっ！
ててて…
ストップストップ！
大丈夫舞姫!?
は…はい…
なんであんな落ちこぼれといつも一緒にいるのかしら…
ヒソ
ヒソ

はーっ
気にするなって舞姫
いつかあんたにも得意なこと見つかるし
皆が知らないだけで長所だっていっぱいあるんだからさ
例えば…？
例えば…
安産体型なこととか…
仕草がいちいちエロいこととか
胸がでかいこととか…
なんか偏ってません…？
しし

それか試しに
色んな部活とか
入れば良いん
じゃない？
そうすれば
新たな才能が
見つかるかも
…いえ…
いいんです…
私が入ると
皆に迷惑かけ
ちゃいますし
ずーん
どこまで
謙遜するんだ
お前は…
ま私は
その優しさ
嫌いじゃ
ないけどな
それにっ
放課後はバイトで
忙しいですから
ほーん…
いい加減
教えろよ その
バイトーっ
もみ
もみ
もみ
もみっ
そっ
それだけは
絶対駄目
ですっ!!

一方その頃の炎城烈人――
逃げてるだけで全く反撃してこないぞ…
キショ…
なんだこのキセイ蟲…
私を追い詰めてるつもりでしょうけどね人間…
折角だからそろそろ見せてあげるわ…
とっておきの奥の触手を…
!?

只今校内に不審者が侵入した模様です
全生徒は体育館に避難して下さい
繰り返します――
不審者だって…
怖ーい
!!
これは…キセイ蟲の反応…!
ということは…
不審者の正体はキセイ蟲…!?
なーんで不審者なんかにそこまでしなきゃいけないんだろうねー
やっぱり時代なんかねー
舞姫もそう思わない?

あれ…
舞姫…？
ざわ
ざわ
キャー
キャー
なんだい ここは
雌しか居ない
じゃないか…
キセイ
し甲斐のない
場所だね
いやあっ！

やっぱり現れましたね キセイ蟲…
私がここにいるからには…これ以上好きにはさせません！
星乃さんの最近よく学校を襲うという話は本当だったんですね…
さっきの奴は触手応えが無くて退屈だったし
今回は少し触手加減して遊んでやろうかしら
!?
それってどういう ―

ひやあッ！
なんですかこれ…っ!?
あ…この感じ
今朝の夢と同じ――

――って駄目駄目ッ
はあっ!
!
痛っ
はぁっ…
はぁっ…
危ない所でした…
あやうく正夢になるかと…
く…苦しいっ
!

その声はもしかして…

炎城さん

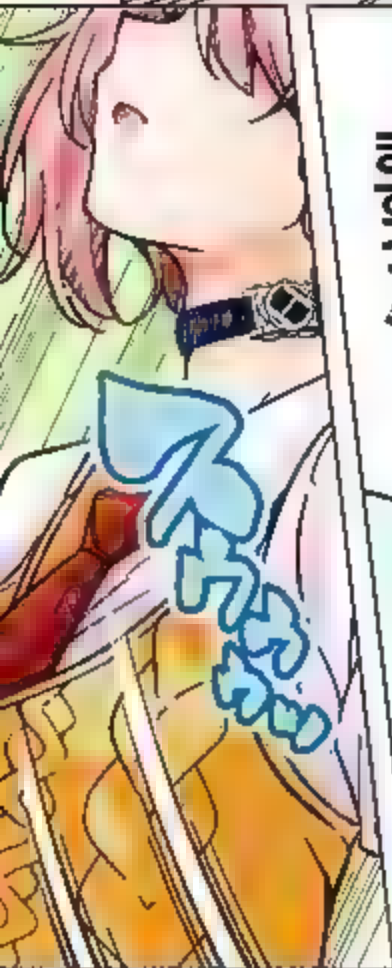
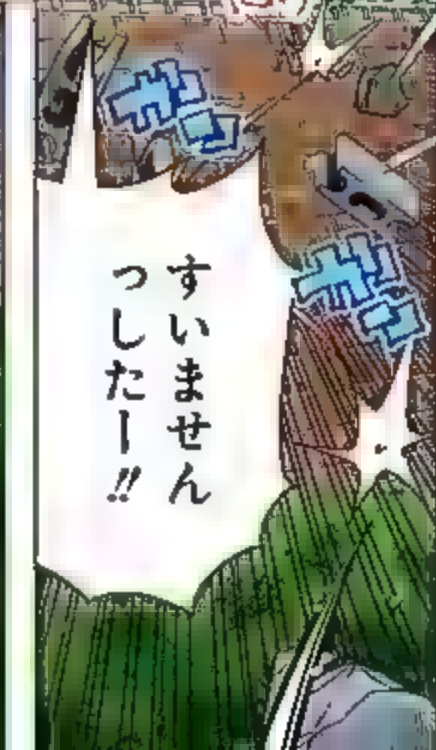
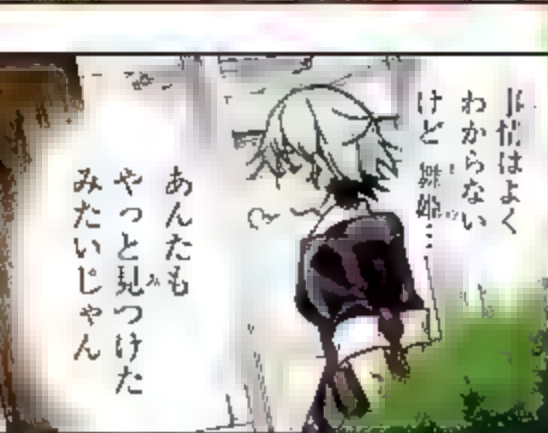
!?

どうしてそんな姿に…

というか大丈夫ですか!?

ああ…お陰で助かった…

俺も気が付いたらこんな姿になってたんだけどおそらく…

おそらく…この学校の生徒かも…
フフッその通り！
私の力はHネルギーを吸った人間を触手化する能力、
こうして増やした触手でHネルギーを吸い取り、
また新たな人間を触手化してゆく
これぞ名付けて人類総触手化計画!!!
な…なんて気の遠い計画なんだ…
さあこの触手の網をかいくぐって
私に攻撃出来るかしら…？

き…来たぞ
白雪ッ！
大丈夫…
要は
近づかなければ
いいんですよね？
！
それなら
私の得意分野
ですから
私に出来る
こと…
私にしか
出来ないこと…
今日の私なら
大丈夫…！
学校の皆は
私が守り
ますっ！

ラマーズ砲〟

はあん
キュッ
ビリ
ビリ
馬鹿なあああああッ～～～ッ…!!!
や…
やった!
ドッ!!
!

えええ炎城さんッ…!?
んッ…
わっ悪い白雪っ!
はっ
ミュウウウゥゥ…

!?
きゃああ!
不審者〜
ばっ
すいませんっしたー!!
大丈夫!? 白雪さん
は…はい…大丈夫です
事情はよくわからないけど 姉姫…
あんたもやっと見つけたみたいじゃん
自分の得意なこと

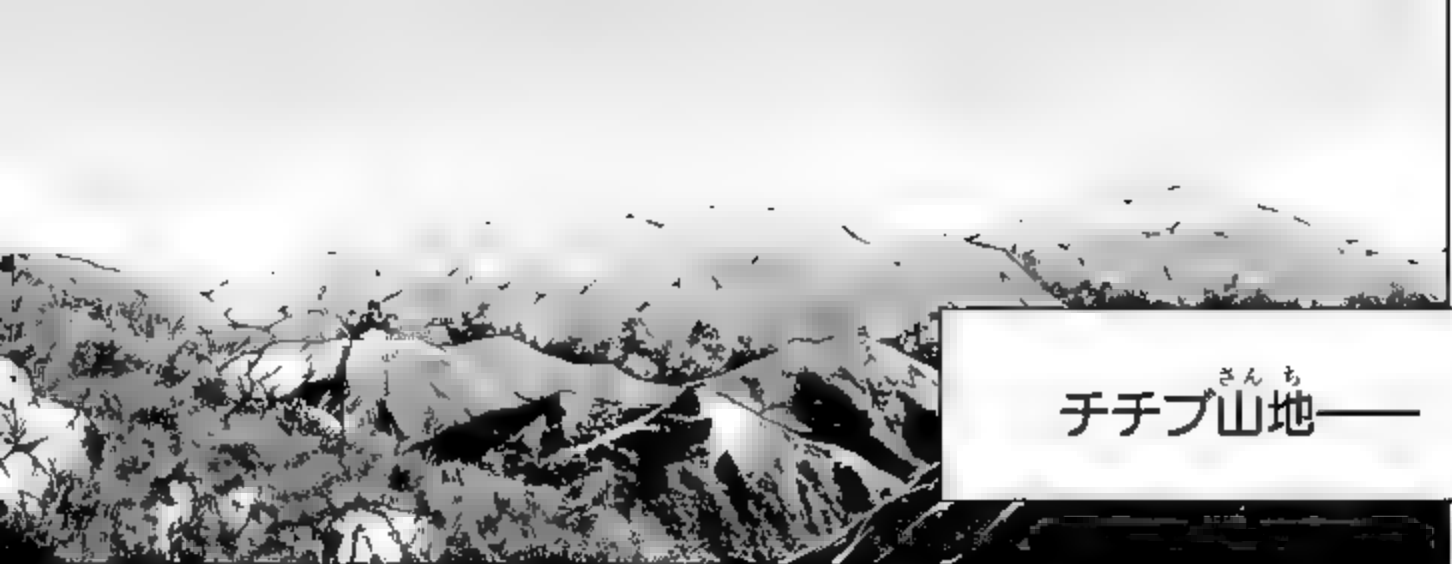
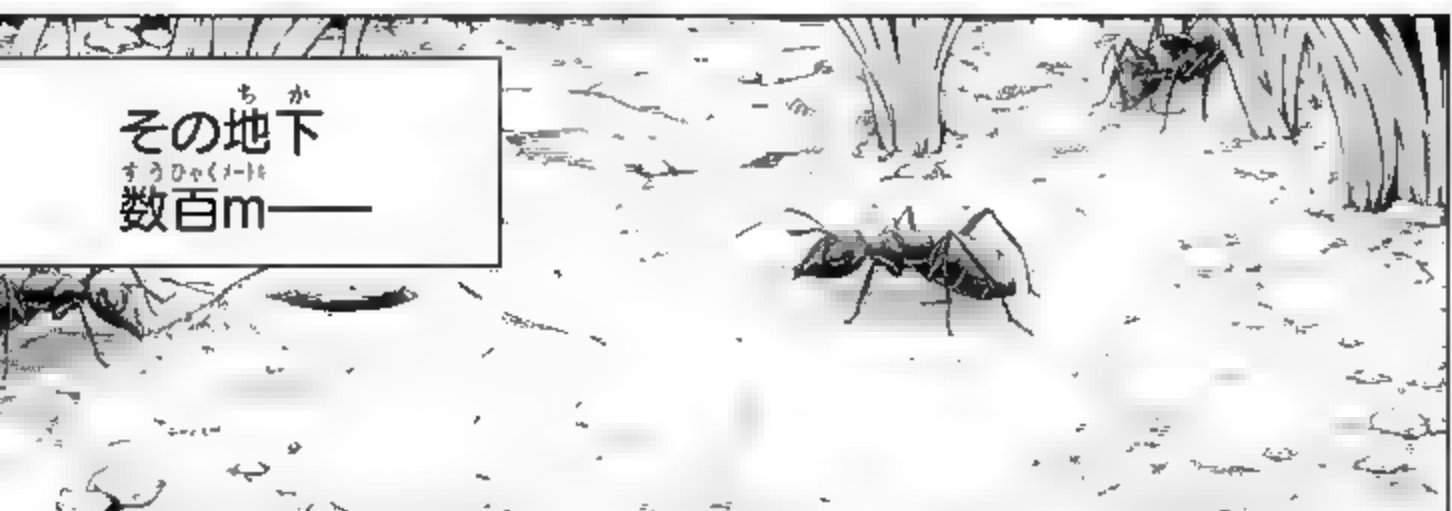
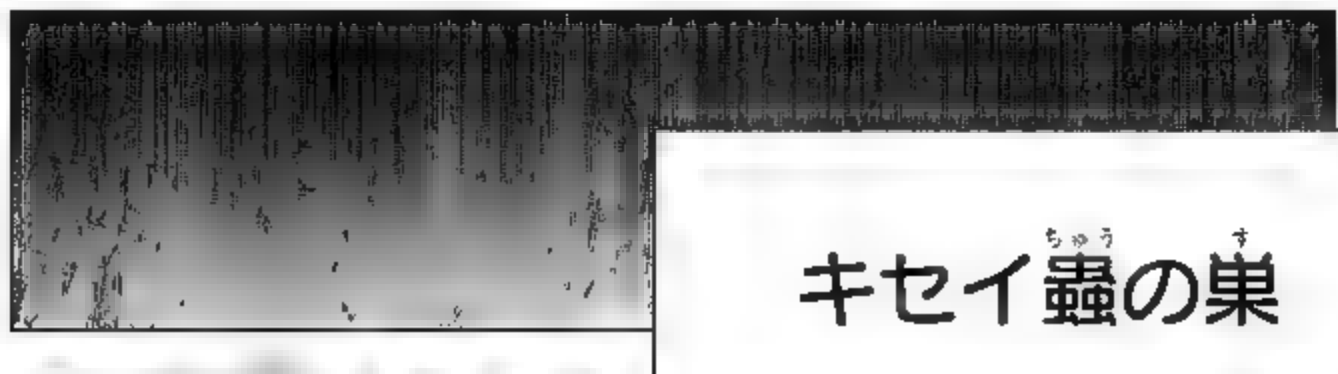
# ド級編隊エグゼロス

HXEROS

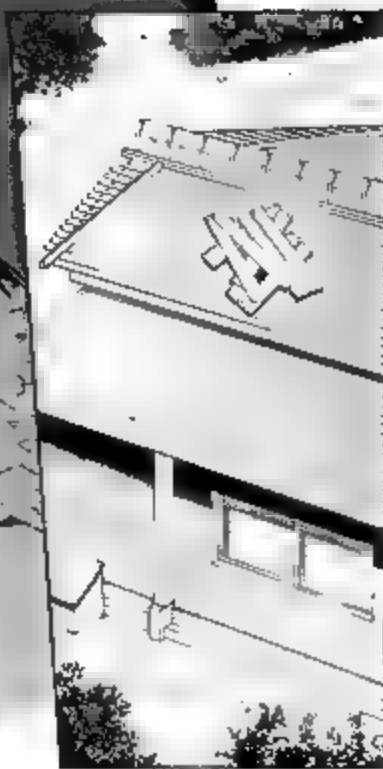
第7話
空の色、星の色

ド級編隊（どきゅうへんたい）

# エグゼロス

HXEROS

まさか人間が
これほどまでに
しぶといとはな…

我々の目的は忘れてないでしょうね？
はっ女王様
地球人が繁殖に必要とするHネルギーの摂取を阻害し
絶滅させこの惑星を侵略することであります
その通りよ
地球人は正面から争うには数が多すぎる
その為にはまずエグゼロスとかいう邪魔者を何とかして頂戴
ご安心下さい
奴らをまとめて排除する良い計画があります
期待してるわ

肉欲に塗れた
愚かな
人間共よ……
お前たちの
三大欲求の内の
一つが消滅する
日も近い――

炎城
き…昨日のことだけど…
あの日の私は切羽詰まってたというか…
気が動転してたというか…
ともかくあれは本当の私じゃないから！
わかった!?

……わかったから少し離れろって…
ぽ
!?
なっ
何考えてんのよ変態…
まさか あの星乃がこんなことで反応するなんて…
なっ!? それってどういう意味よっ!
お前もじゃねえか
じっ

じーっ
No
すっ
……?
見つけた
!

理想のHロイン
むにっ
なっ…
♪
なんなのこの子〜〜〜⁉

どうやら気に入られちゃったみたいですね星乃さん
あれ…そういう意味だったの…？
それが私達もよく知らなくて…
宙ちゃん…自分のことはあまり話さないから…
コト
星乃さんと炎城さん以外は出会ってまだ数か月ですから
お互いを知るのにまだ時間が必要ですよね

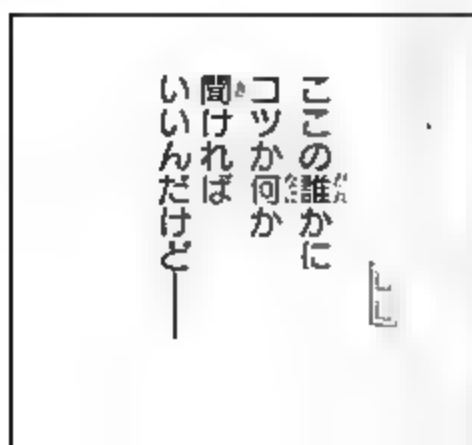
でも
これから皆仲良くなれば
私トロくてドジですけど
ここの生活も楽しくなると思うんです
もっと星乃さんと仲良くなりたいなーなんて…
そうよね…ここでやってくには他の人のこともっと良く知らないと…
こーらルンバちゃんは自分のを飲みなさい
モっモっ
あっ
ぽしゃ

モフッ
…こらっ…
そんなトコ舐めちゃ――
ぺぺぺぺ
あ…ッ!
あっ〜〜〜
……とりあえず白雪さんはこういう人…と…

だけど…
私も他人のこと言えないのよね…
悩んでたとは言え…
私もこの間——
あ〜もうなんであんなことしちゃったんだろう〜…!!っっ

ただいま
はー…
今日はすごい質問攻めだった…
上手く誤魔化せてればいいんだけど…
炎城とも気まずいままだし…
まずは自分でHネルギーをコントロール出来るようにしないと…
ここの誰かにコツか何か聞ければいいんだけど――

って…
まだ誰も帰って来てないか…
あっ！
ガサッ
ゴン
ニコッ
コラッ
そんなことしちゃ駄目でしょ！
ガタッ
バサササ
ぴょーん
全くもう…
ん？

こ…これは…！
ガチャ
ジャー…ッ

ばっ
み…見た…？
ごめんなさい…覗くつもりはなかったんだけど…
ノートが落ちちゃったから拾おうとしてそれで…
だけど天空寺さんって絵上手いのね
ちょっと意外
かーっ

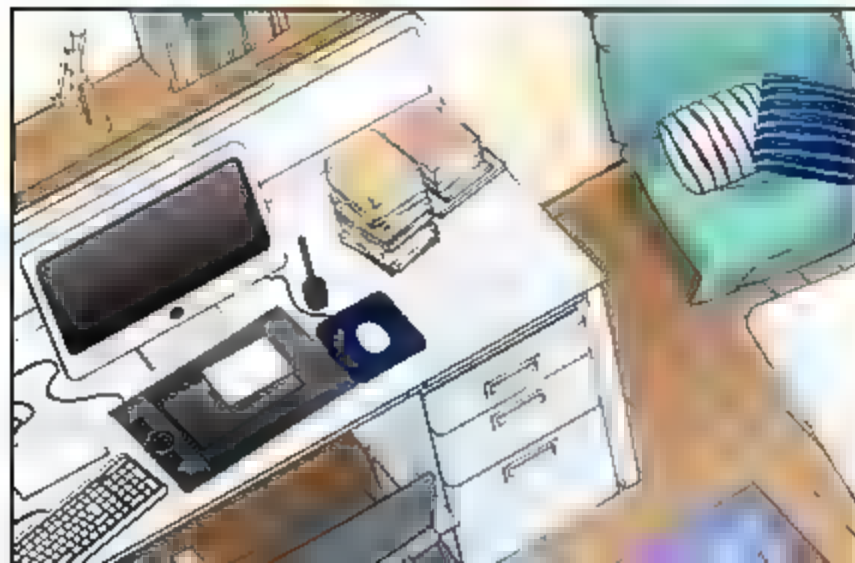
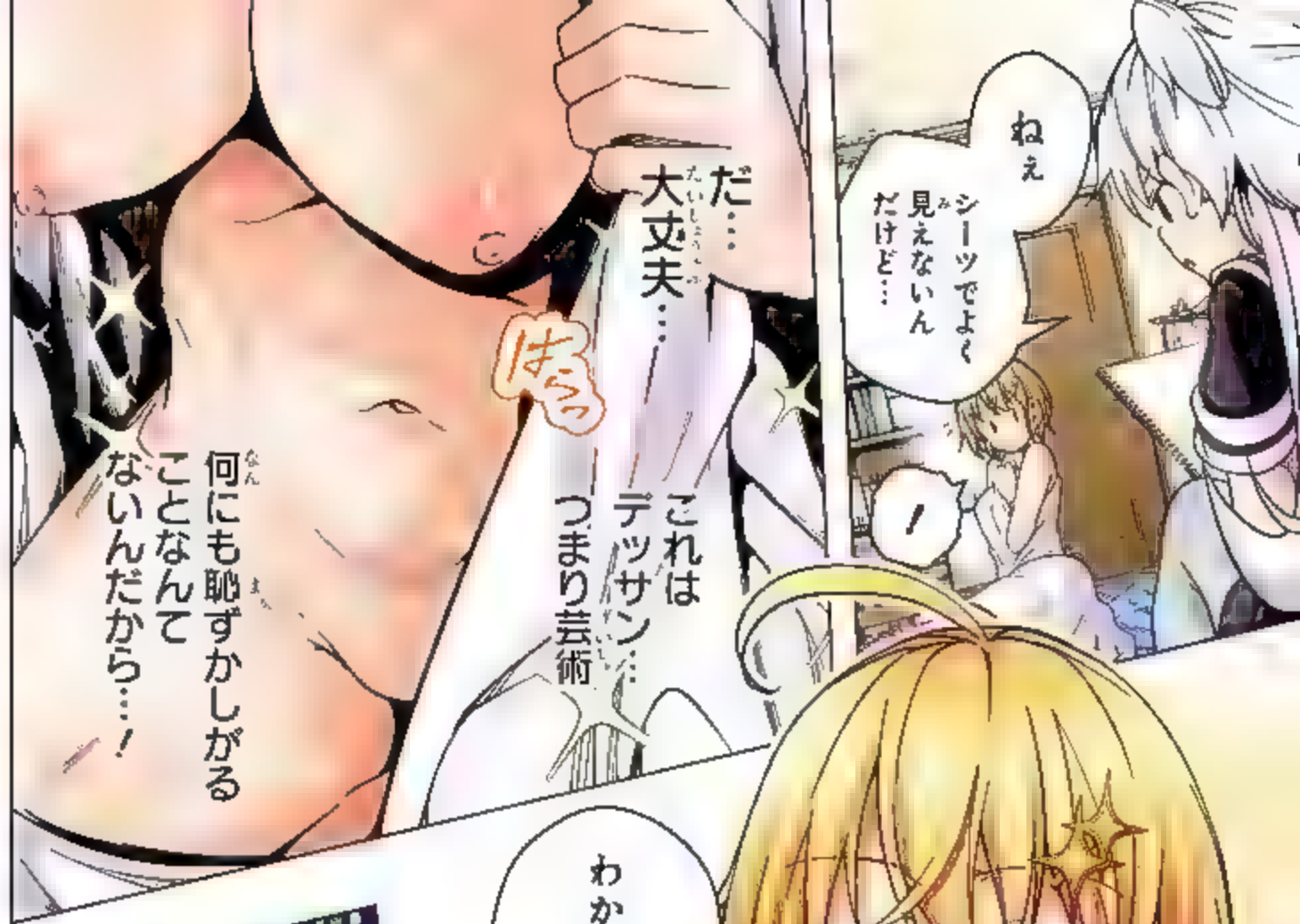
まだここの誰にも見られたことなかったのに――
なっ…なんでそうなるの!?
バレたからには…
雲母ちゃんの恥ずかしい格好を撮って口止めするしか…
…だって…知ってるもん…
皆と違って宙のHネルギー源だけ変だって…
分かってるけど…好きだから止められなくて…
気付いたら自分でも描くようになってて…
他の皆にもバレたら絶対笑われる…

そんなことない
!
誰にだって人に言えない趣味や過去を持つこともある…
私にもそういう経験があるから気持ちはよく分かる
だから無理に止める理由なんてどこにもないよ
それに自分で言えるようになるまで誰にも言わないから
約束する…ね…?

わかった…
許したげる

その代わり…

宙の一番恥ずかしい物を見たからには…

雲母ちゃんの恥ずかしいトコも見せてもらうから

ま…まさかとは思ったけど頼み事って…
裸婦デッサンのこと――!?
今描いてる漫画のキャラのイメージが雲母ちゃんそっくりなんだけど
やっぱり実物を見ないと上手く描けなくて…
今朝のアレはそういう意味だったのね…

ねぇ
シーツでよく見えないんだけど…
！
だ…大丈夫…
はっ
これはデッサン…つまり芸術
何にも恥ずかしがることなんてないんだから…！
わかった…
私の身体で良かったら好きなだけ参考にして
それで…どんなポーズすればいいの…？
ホント？
それじゃあ──

宙ちゃん…このポーズはなんなのかな…？
ん？
ドジな女の子が滑って胸に縦笛が挟まっちゃうシーンの参考に…
どんな漫画!?
例えば…
!!?

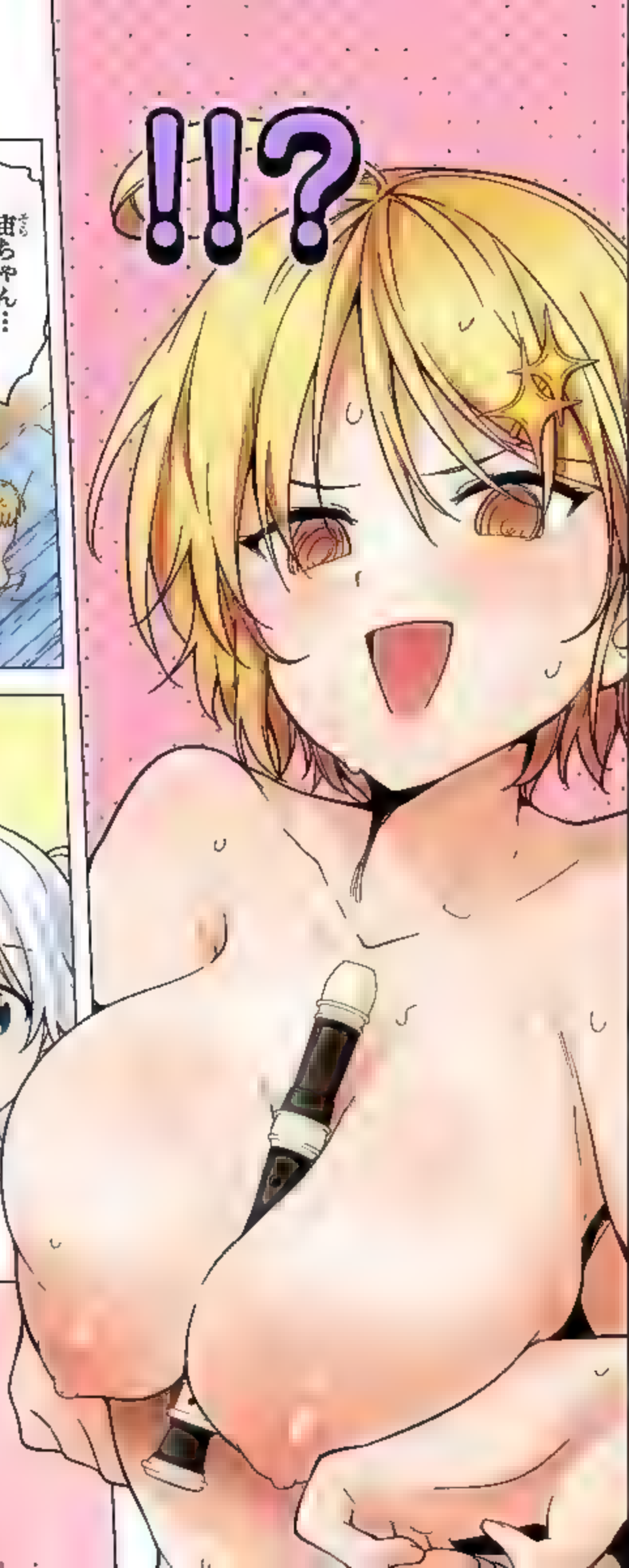
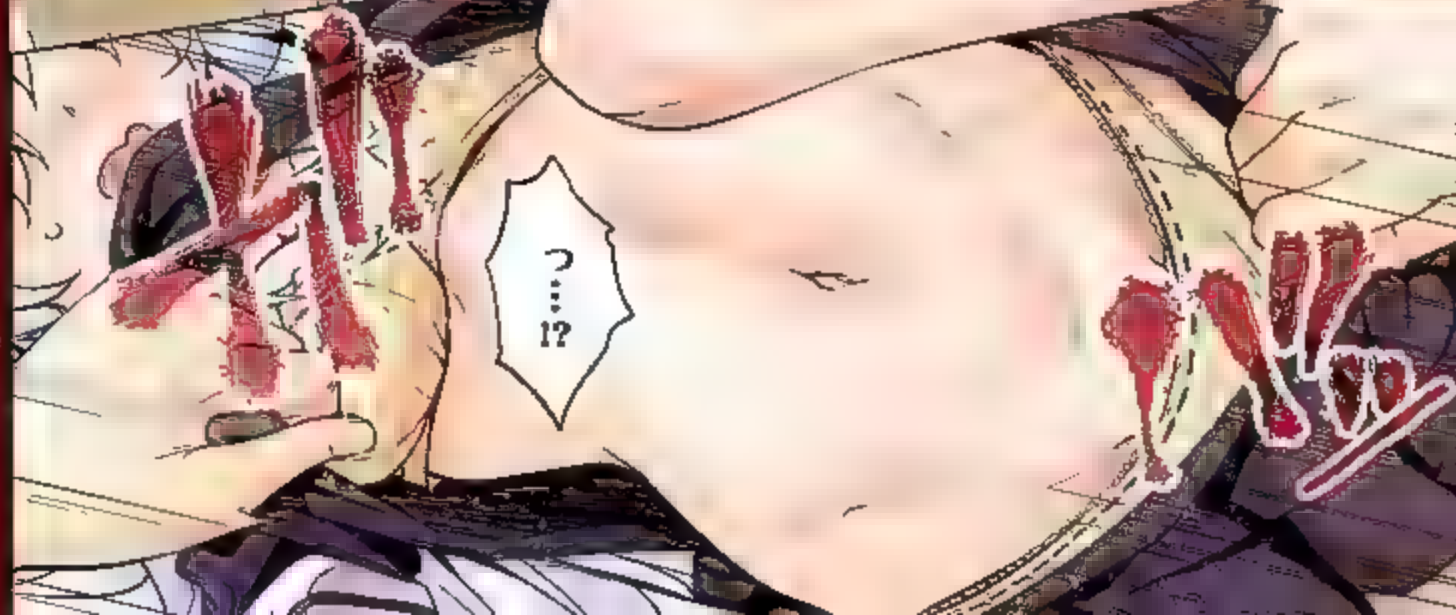
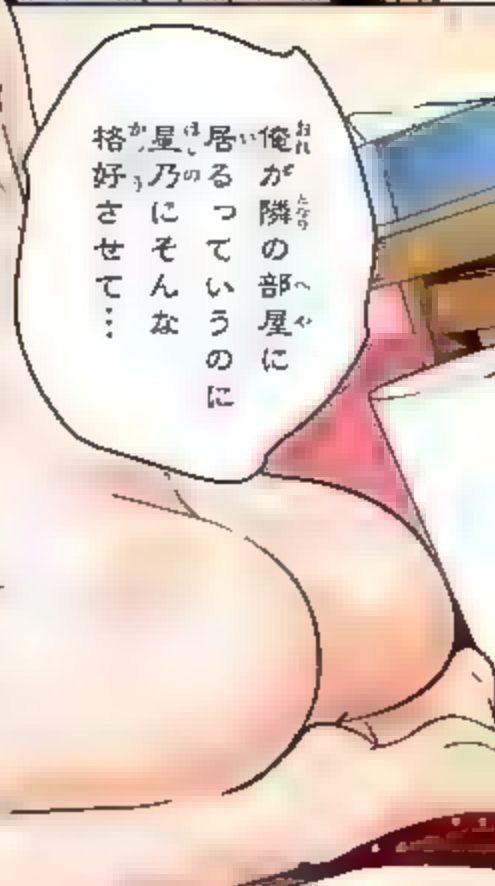
ガチャ
え…炎城!?
もー我慢出来ない…!
俺が隣の部屋に居るっていうのに星乃にそんな格好させて…
本当は誘ってるんだろ…?
っ…!?

責任・・・
取ってもらうからな

みたいな漫画なんだけど…
ハァ ハァ
よ…要するにHな漫画ってことね…
びっくりした…
そういえばこの子もここのメンバーだったっけ…
だけどちょっと意外…
い…言っちゃった…
この子もこんな表情するんだ…
そう思うとちょっとだけ…今日は手伝って良かったかな…

緊急警報発令
市街の本屋にキセイ蟲が出現
隊員は直ちに出動して下さい
なっ…何…!?
だーだーだだだっ
行くよ雲母ちゃん
支度して
おいっ聞いたか今のっ!

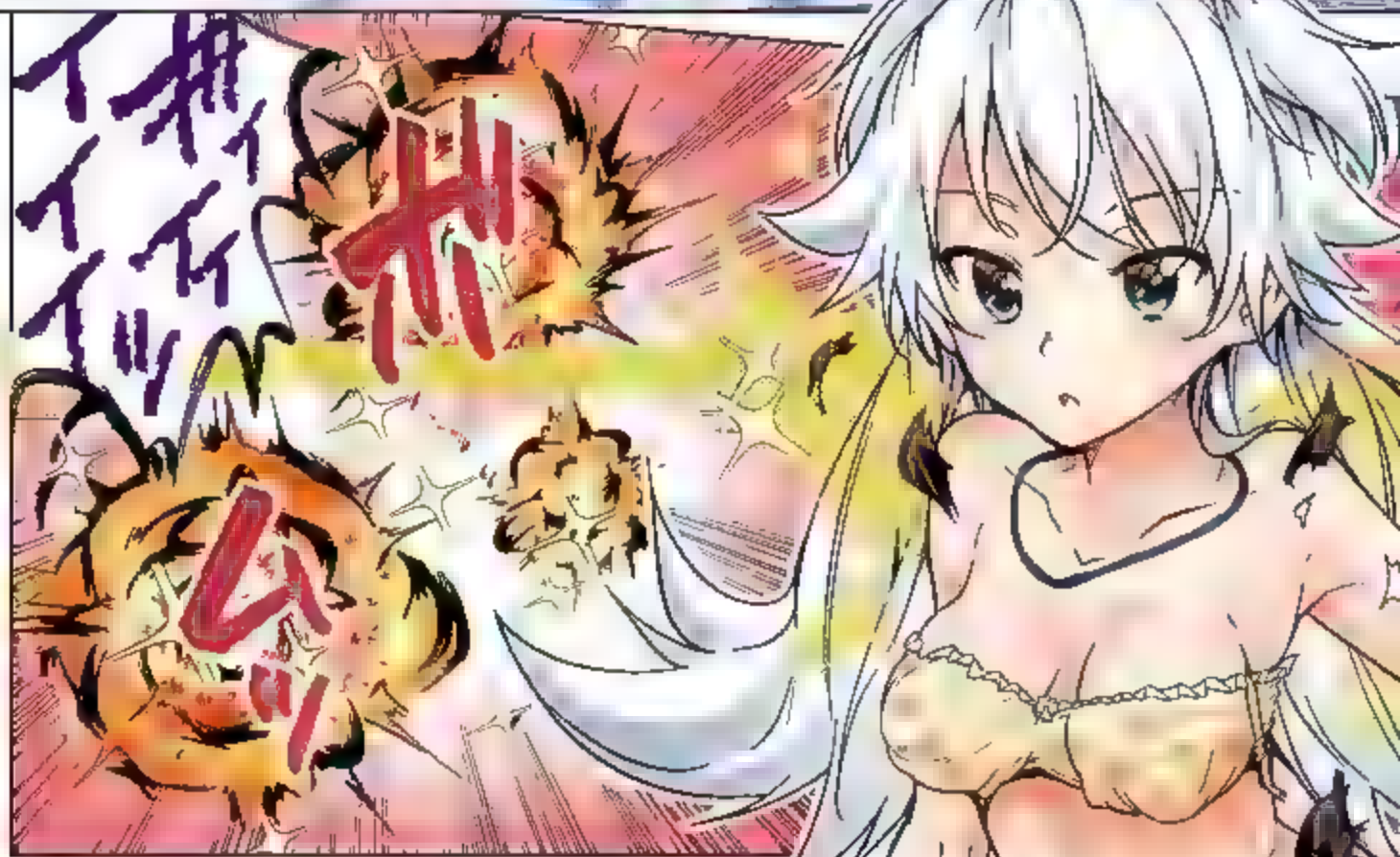
ハッ!!
ひ…
ゴッ
なに女子の部屋にノックもなしに入って来てんのよ……!!!
わ…悪い……急いでて…
シュウウウぅぅ…

天空寺
行けるか？
う…うん！
すくっ
本

ここが如何わしい本を人間共に多く提供しているという店ね
なんでこんな地味な場所が選ばれたかしらないけど
女王様の意志によりキセイする
お行きなさい小蟲達
ぱ
ぱっ
ぱっ
キキキー
な…なんてことを…！
ただでさえうちは経営難だっていうのに…!!
け…警察へっ

!
なんなの…
これ…
ここは…
どうした
天空寺…？
宙の
お気に入りの
本屋
それを
こんなふうに
するなんて…
許さない…
ギッ
!?

キショッ!?
エクゼロス!?
こんなに早いなんて聞いてないわよっ…!
ぐぬ…
キッ!
お前達ッ!後は任せたわよ!
ガッ
逃げた!?

アイツは俺が追う！
だっ
ここは頼んだぞ！
だから私はまだ無理だって――
大丈夫…
ぱぁっ
!?
ばばばっ

宙ちゃん…その姿…
これ？

宙のH×EROS
ペカッ
Hネルギーを翼の形に具現化してるの
そんなことも出来るんだ…
イメージさえしっかり出来ればこれくらい簡単
だけどこれは流石にちょっと
多すぎかも…！
きゃあああっ！
!?

ひいいっ
まだ人が――
はっ

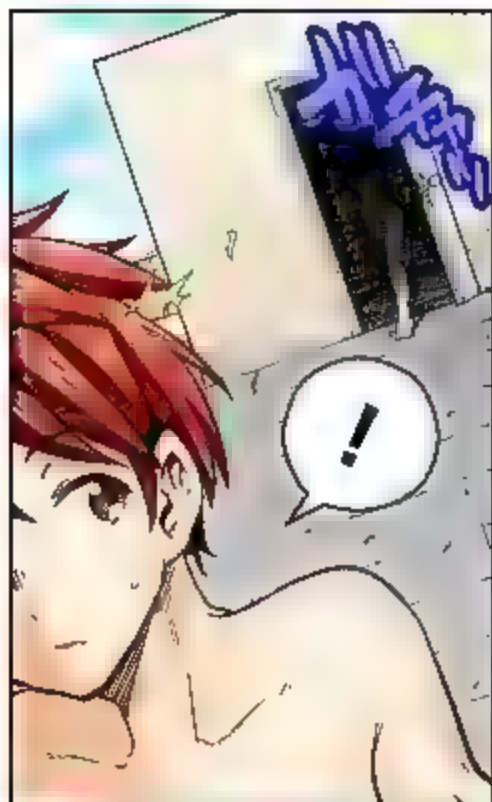
？？
ててて…
あ…
ありがとう
ございます…
大丈夫雲母ちゃん⁉
能力が使えなくたって
コレくらいは出来るんだから
今日はありがとう雲母ちゃん
ーー
ここからは宙に任せて
その人を連れて下がってて
さこっちへ
はっ…はい！
今まで自分の絵なんて恥ずかしくて見せたことなかったけど…

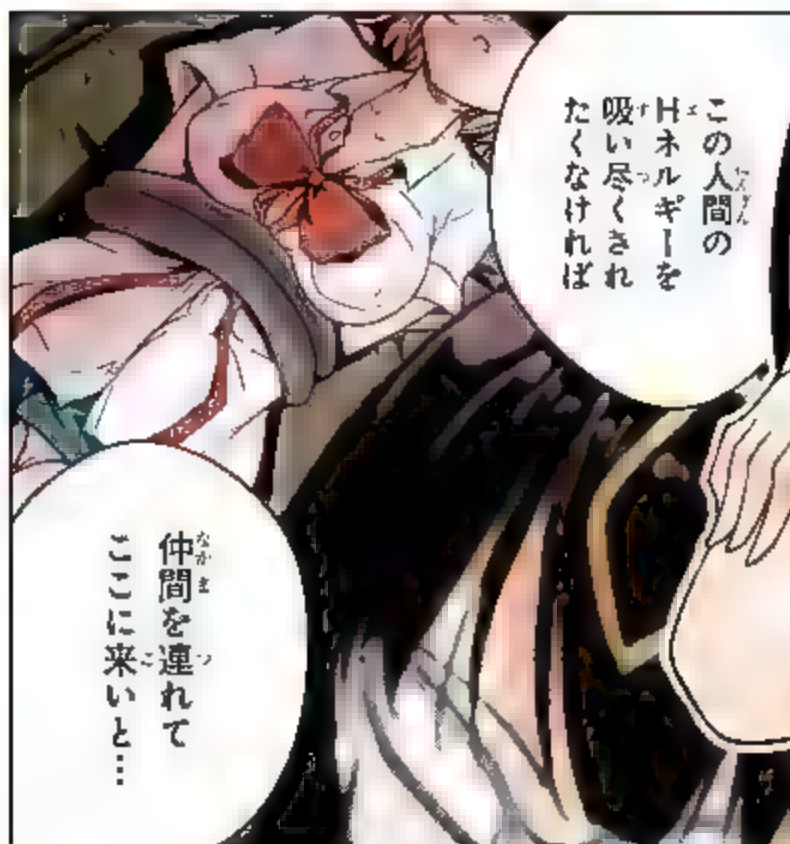
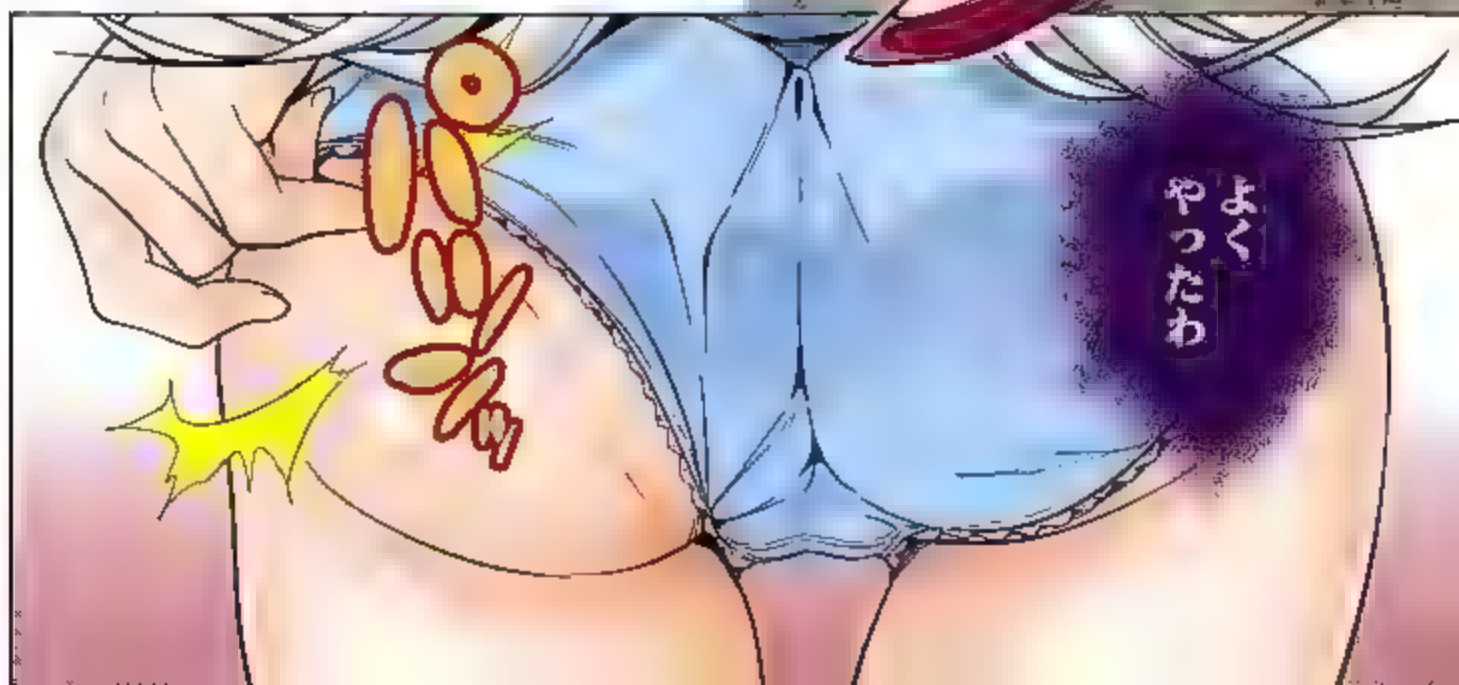
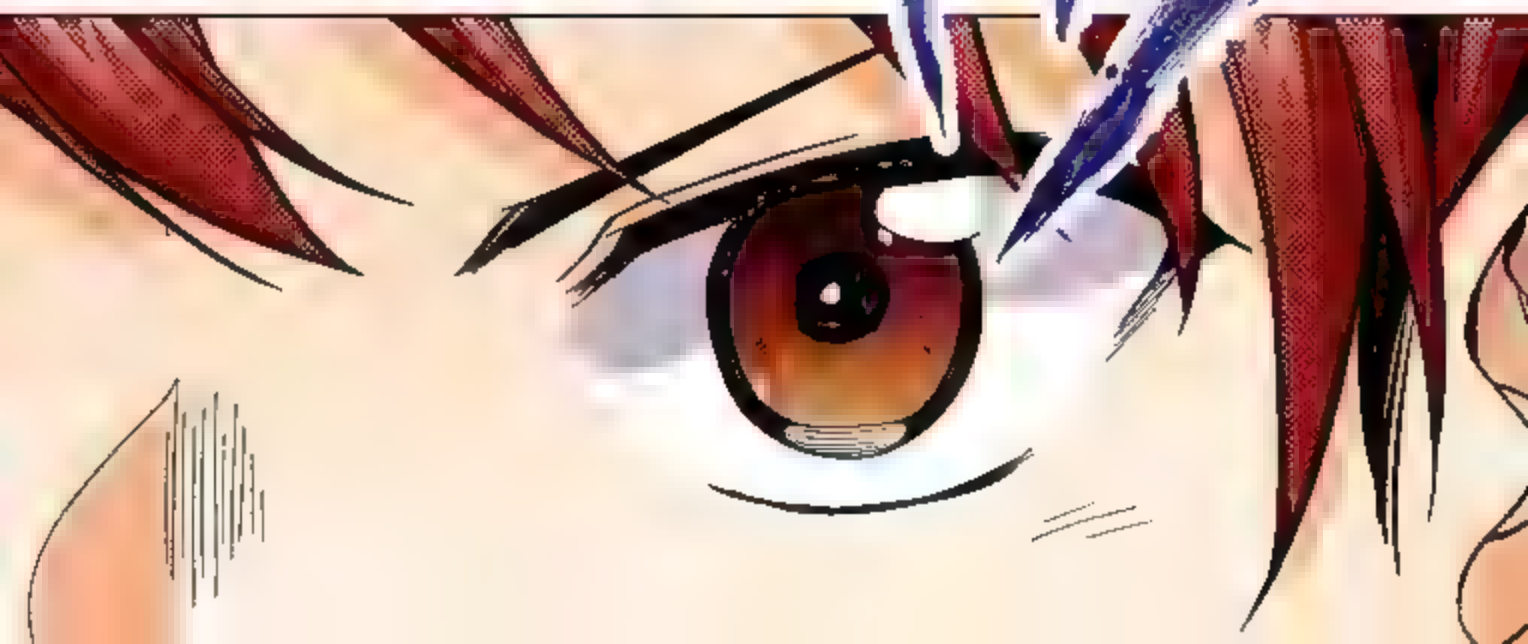
褒められるのって
こんなに気持ち
よかったんだ…♡

天空の閃光（ソーラーレイ）

すごい
宙ちゃん…！
スッ
ええ
お疲れ様
あ…
ガクッ

……はい 女王様…
こちらの目的は完了しましたのですぐに戻ります
終わったよ雲母ちゃん
………あれ…
雲母ちゃん…？
しーん

キオオオオ…
!
そっちも片付いたか？
烈人くんっ…!!!
!?

天空寺っ…!?
お前 着替えは―
それより 雲母ちゃんが―
雲母ちゃんが……!

女王様
エグゼロスの中で唯一無害だと思われる人質を無事確保しました
ちゃんと要求は伝えた？
はい
この人間のHネルギーを吸い尽くされたくなければ
仲間を連れてここに来いと…
よくやったわ

それでは迎撃の準備に入って頂戴
エグゼロスさえ排除出来れば計画は次の段階へと進められる
キセイによる
人類のキヨセイ

待ってる
星乃――

# ド級編隊（どきゅうへんたい）エグゼロス

HXEROS

Extra Gallery

番外ギャラリー

ド級編隊
エグゼロス
HXEROS

第8話
ごめんね 皆… 宙が付いてたのに…
天空寺・お前のせいなんかじゃない
誰もキセイ蟲がこんな手に出てくるなんて思いもしなかったんだ
そうですよ
それに星乃さんが心配なのは皆同じです
ね？百花ちゃん
ぴくっ
！
せっ…せやな！
どうしたんだ桃園？
いや…何でもあらへんよ…？

カッーー！
アカン……!!!
さっき一発無駄打ちしてもうたせいでこのままじゃ全然闘えへん…！
…せや
なぁ皆
このまま言われた通りに行って簡単に助けられると思うか？
罠かもしれへんし
……確かに…
万全を期して今からでももっとHネルギーを溜めてった方がええんとちゃうか？
でもどうやって……
ウチに任しとき
烈人はそこで待っててな
おっおい
ゴソゴソ

へええっ!?
…本気ですか…!?
そんなので溜まるなんて百花ちゃんだけだと思う…
なっ何弱気なこと言ってるんや二人共!
仲間を助ける為に最善を尽くすのがHEROってもんやろ!
ぱっ
そっ…それは…
……わかりました…!
私も覚悟を決めます…

こんな時に何やってんだ？
あの…炎城さんこれ…
？
ごそごそ
…これ…百花ちゃんが帰って来るまで預けるようにって…
ほく
ほく
!?

ドヤ 烈人？ウチらは見られそうで烈人は見えそうでHネルギーが溜まる
これぞWin-Winの関係やろ？
お前だけな
なーんや…残念やな二人共
!?
あとな…危ない時はちゃんと言えよ…？
!
きゃあっ！
ぴらっ
いっ…いいから早く行くぞっ！
俺で良ければ盾くらいにはなるからさ
炎城さん…
烈人くん…
なーにカッコつけてんねん
ぱあっ

ガタァーーーッ
この状況は流石に――
盾になるとは言ったものの…
たたんっ
たたんっ
第8話
エグゼロス・ライジング

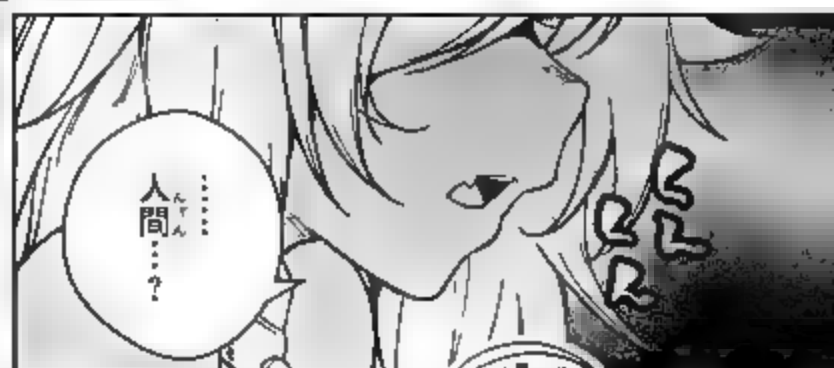
くっ…
あなたも同じ人間でしょ!?
なんでキセイ蟲なんかに協力してるのよ!
あら?
私がいつ自分が人間だなんて言ったかしら…?
!?

中には人間社会に紛れて内側からキセイしてる仲間も居るくらいよ
まぁ…知った所でもう手遅れでしょうけど
擬態と言ってね…キセイ蟲は惑星の生態系に合わせて姿を変えられるの
そんな…
ボコ
私は女王様に直に報告してくるから
しっかり見張ってなさい
わかりました
ともかくどうにか脱出しないと

こんな時にH×EROSが使えてれば…
そうだ…
ねぇそこのあなた…
あなた達は私にHネルギーが溜まると困るんでしょ…？
はーっ
はーっ
私縛られてるとドンドン溜まってきちゃうんだけど…
このままで良いのかしら？

ちっ……コレだから人間って奴は世話が焼ける……
解くけど妙な真似するんじゃないわよ？
ええいッ！
キョ!?
はあっ……はあっ……
全くなんて真似させるのよ……！
とにかくどこかに隠れないと……

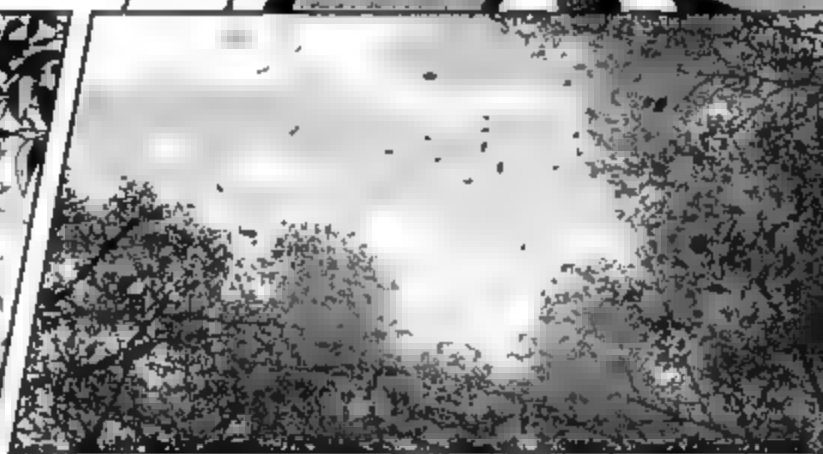
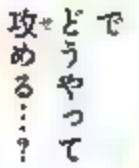
んん〜〜〜ッ
はぁ…はぁ…良かった…
誰も居ないみたい…
……人間……？
くんくん
はぁっ…これからどうしよう…
人間なのだ〜〜〜っ♪
はーホントに柔らかいのだー♡

きゅ〜〜っ
はっ!?
ご…ごめんなさいなのだ…!
ぱっ
人間を生で見るのは初めてでつい…
あなた…一体なんなの……!?
キセイ蟲の仲間!?
何…この反応…
本当にキセイ蟲…?

ボクは"チャチャ"
ただ…ボクは千年に一度生まれるとされる忌み子…
女王様の第一子…つまりは ここの王女様なのだ!
もさっ
生まれて此の方ずっとここに閉じ込められているから
仲間かというと少し違うのだ
閉じ込められてるって…
あなた達同じキセイ蟲じゃないの…?
この通りボクは一族の突然変異…
残念ながら向こうはそう思ってないようなのだ…
閉じ込められてるのは多分…同胞とは真逆の体質だからなのだ…

あの・・アナタを良い人間の雌君と見込んでお願いがあるのだ…！
キララです…！
ではキララ
ボクをここから出してくれないだろうか？
この惑星は面白い！
支配種の交配が他の種族よりもこんなに複雑なのに栄えるなんて聞いたことないのだ!!
特に「ひるどら」とかいう この国の番組がお気に入りなのだ!!!
へ…へぇ…詳しいのね…
知っているかもしれないのだが同胞は人間を滅ぼそうとしている…
ボクは なんとしてもそれを阻止したいのだ

同胞のことを許してくれとは言わないけれど
どうか協力して欲しいのだ…！
わかったわ…だけどここから脱出したいのは私も一緒…
一緒に策を考えましょう
なるほど…
というとことはキララにHネルギーが溜まればすごい力が出せるようになるのだ？
そ…そういうことになるわね…
それならボクに任せるのだ…♥

言ったのだ？
ボクは他の同胞と真逆の体質の突然変異なのだと
ボクは他の種族がHネルギーを感じやすくなるフェロモンを放出出来るのだ
はっ…ぱぁっ…
なにこれ……!?
ふわっ
だからHネルギーの補充
ボクが手伝うのだ♡
ぞくっ
凄すぎッー
ぞくっ
ぞくっ

ブロロロロロロロ…
H×EROSによるとこの近くみたいだな…
大丈夫か……？
うん なんとか…
ここか

で
どうやって攻める…？
そりゃあもう正面突破しかないやろな
ですね
つん
折角Hネルギー溜めたんだし…
うずうずうずうずうずうずうず

烈人は先に雲母の所へ

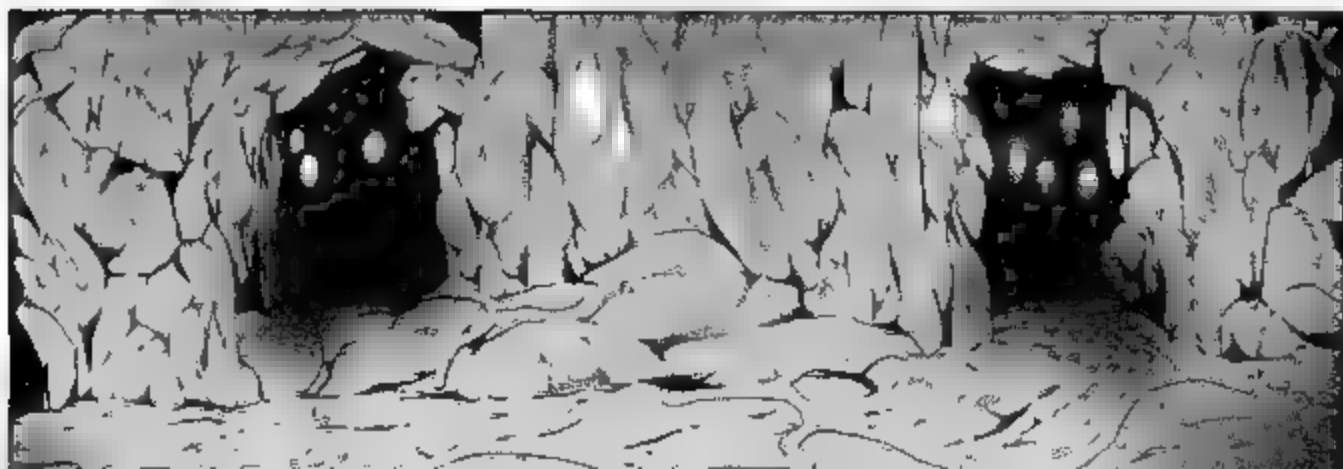
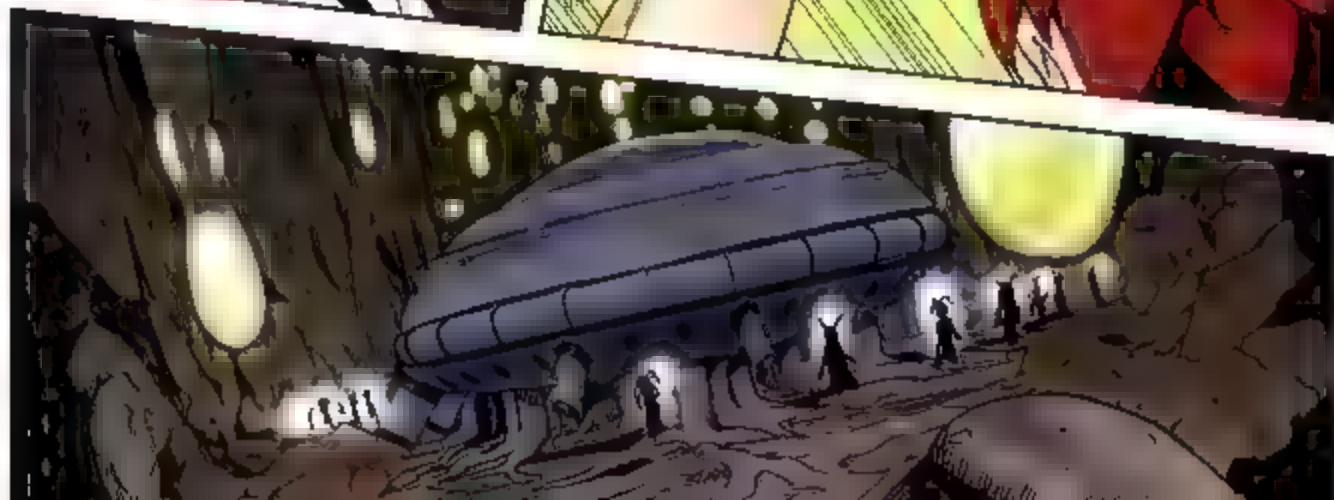
ウチら女子は少し暴れてから向かうわ

なんで別行動で…

言わせないで下さいっ!

そっそういや戦闘は男女別って決めてたな…!

絶対全員一緒に家に帰るぞ

でもまさか貴女が人間如きに気絶させられるなんてねー
う…五月蝿いわね…！
少し油断しただけよ
パァ
ん？
ラマーズ砲
ぼっ
!?
天空の閃光

奴ら…っ本当に来やがった…！
全員 今すぐここに——
さーて 宙舞姫
ウチらの大切な友達に手を出したらどうなるか

キセイ蟲共に教えてやらへんとな…
待ってろ星乃…！

はあっ はあッ…
もう駄目…
うくん…全く反応しないのだ
ええ〜〜〜…っ!?
キララよ お主ちゃんと想像したのだ?
想像って何を…?
子種のことなのだ

ななな何言ってるのよ ばっかじゃないの!?

…なぜなのだ?

人間は有性生殖なのだろう?

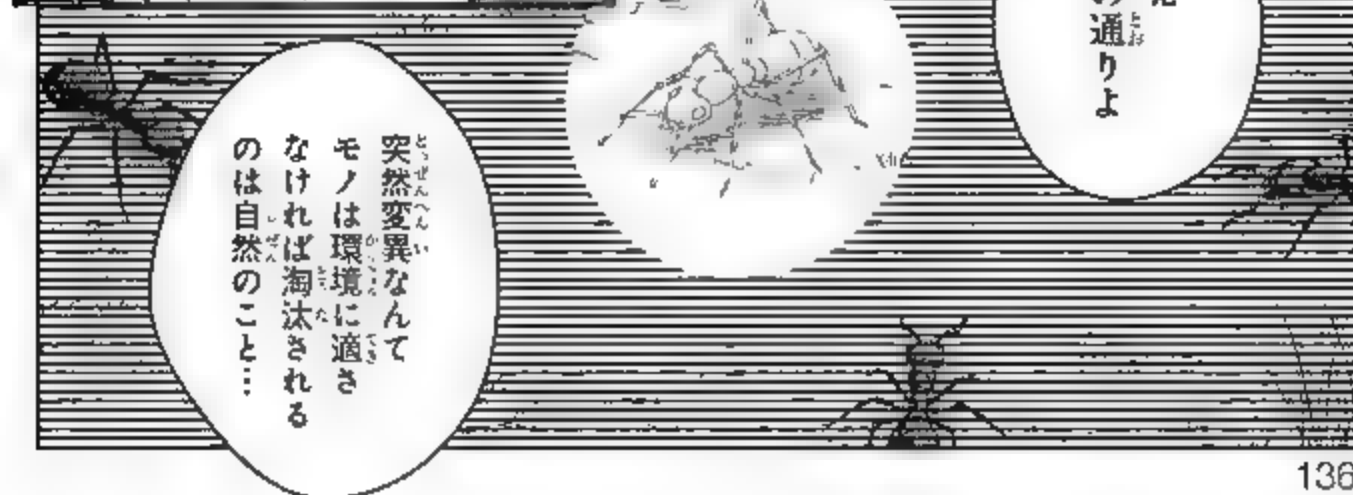
生存本能に何を恥じることがある

もう少し自分に素直になるのだ キララ

あのね… 人間には恥じらいって感情があんの

エグゼロスは入り口方面よ！
……！
早く行きなさいっ！
今のって…
どうしたのだ？
まさか皆が…
来てくれた……!?
チャチャ！私達…ここから出られるかもしれない…！
がしっ
ホントか…!?
ホントにここから出られるのだ…!?

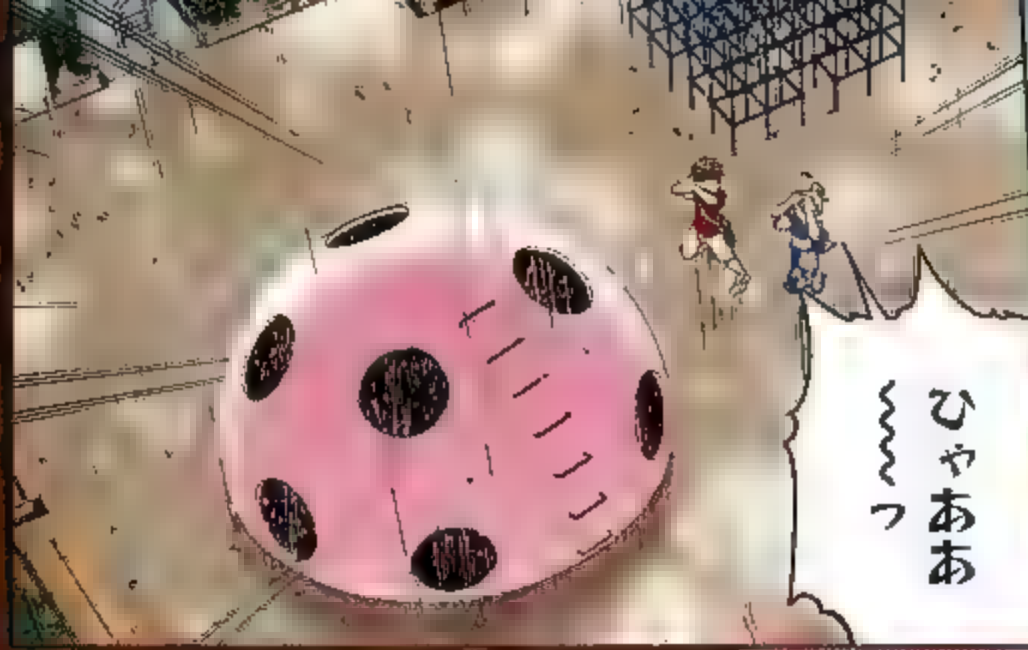
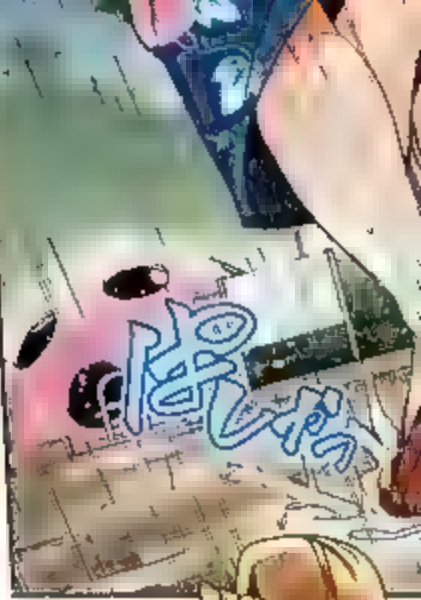
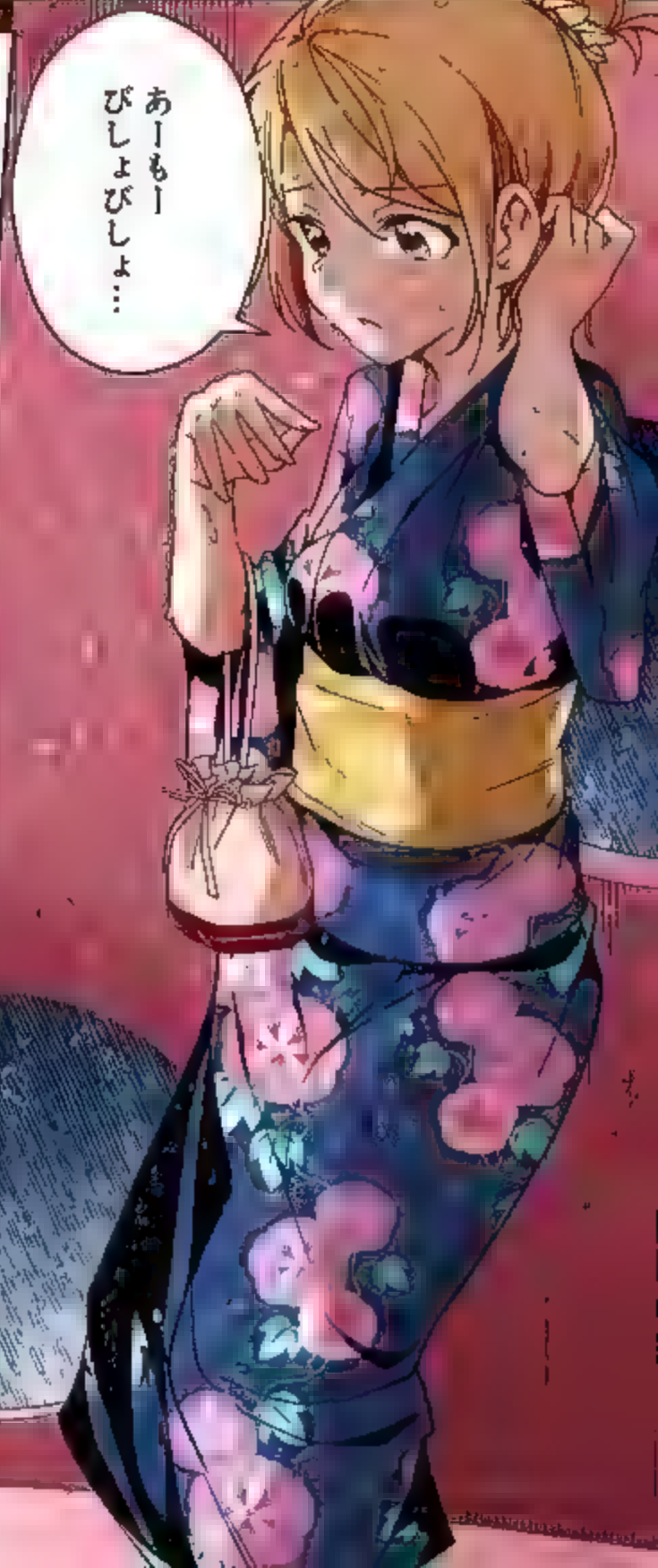
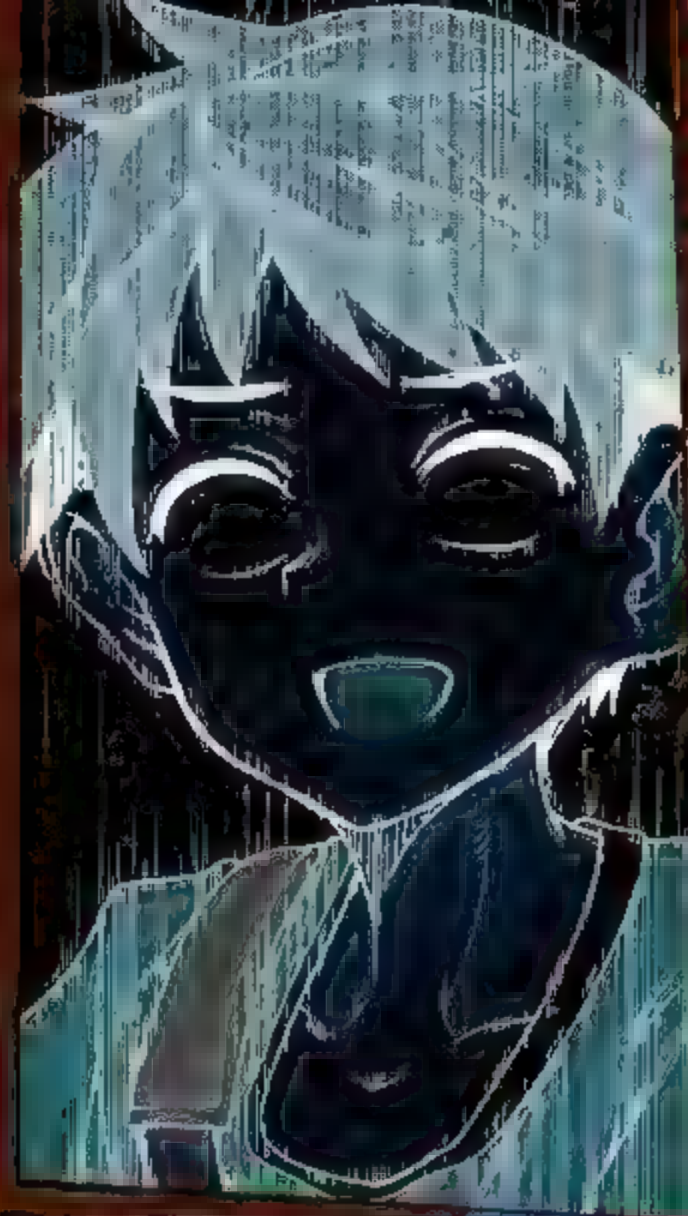
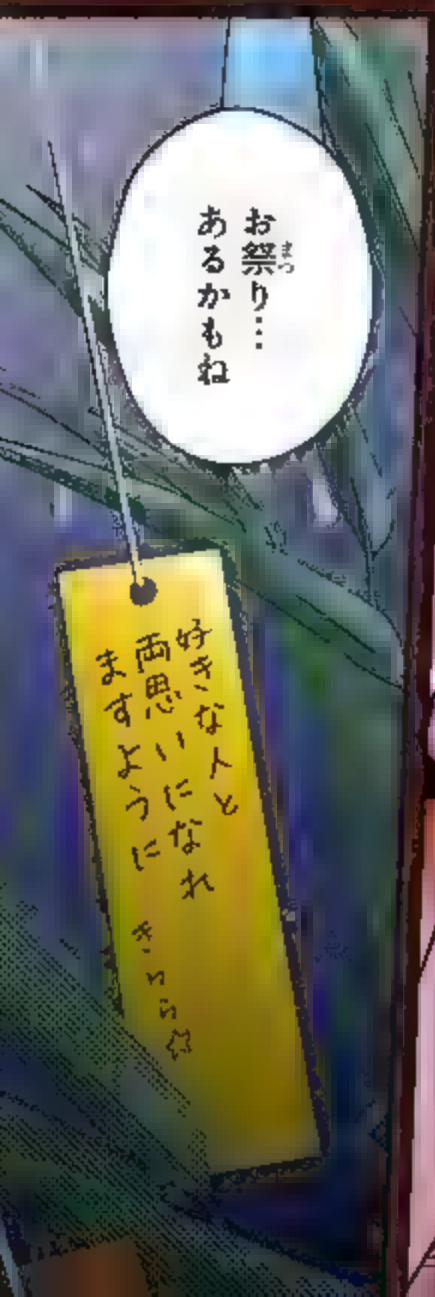
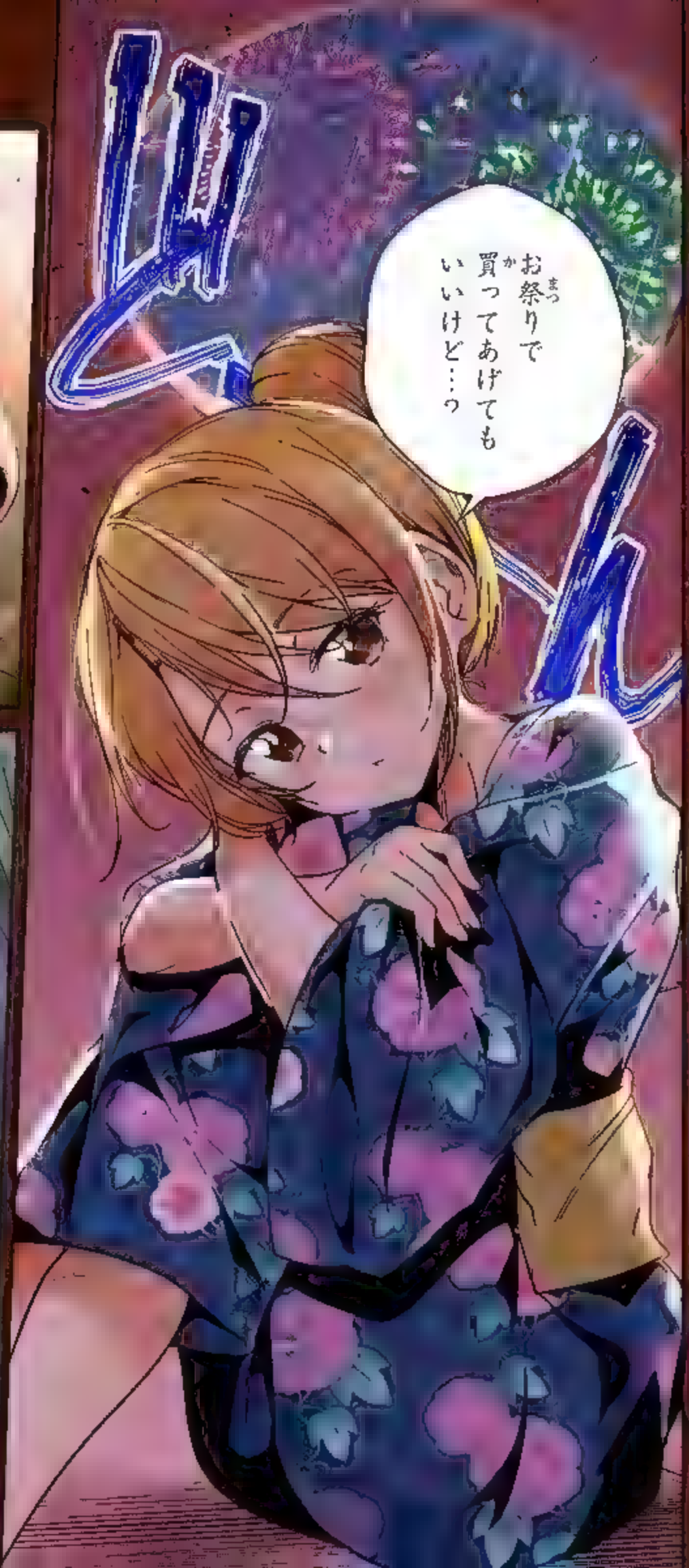
それは無理ね
どうりで見つからないと思ったら…
こんな所に隠れてたのね…
人質の出番よっ来なさい！
いやっ…！放してッ
ヤメロっ！
キララから手を離すのだ！

のだッ
ドゴォッ
これはこれは王女様
けほっ
まさか人間に手を貸すおつもりではないでしょうね…？
…だったら何なのだ…⁉
最初からボクを仲間だなんて思ってないくせに…！
ええその通りよ
突然変異なんてモノは環境に適さなければ淘汰されるのは自然のこと…

女王第一子という
お情けで生かされ
てるということを
お忘れなく 王女様
ま…
待ってて
チャチャ…！
ガチャン
きっと…
助けに来る
から――
ここが…
そこまでよ
!?

大人しく投降なさい
さもないとここに居る同志全員で
この雌が生きる気力が無くなるまでHネルギーを吸い尽くすことになるわ
星乃ッ!?
や…やれるもんならやってみなさい…
私はそんなものに屈しないんだから…!
キショショっ!真っ赤じゃない
もしかして体験済みなのかしら…?
かわいそうに…二度もこんな目に遭うなんて

……わかった
これが俺達の力の源…H×EROSだ
これがないとキセイ蟲と闘えない
これを外すから
カチャ…
星乃には手を出すな…
何言ってんのよ…
あんた こいつらが許せないって言ってたじゃない
あぁ…
だけど同じくらい あの日 星乃を守れなかった自分自身も許せなかった…
だからもう あんな思いはしてほしくないんだ…

炎城…
それに今でも後悔してるんだ…
なんであの時この一言を言ってやれなかったんだろうって…
Hネルギーが多いからって恥ずかしがることねーよ…
…いや…
むしろアリだと思う
なっ何こんな時にふざけたこと言ってんのよ！
………
ふざけてなんかない…！俺は本気で――

だから早く
そんなやつぶっ飛ばしてやれ
もう少し自分に素直になるのだ
自分に、素直に、
私だってそんな頃もあったのに…
なんで忘れてたんだろう…

ひゃあああ〜〜〜っ
あーもー
びしょびしょ…
この調子だと
今年の七夕祭りは
中止かなー
え〜〜〜…
せっかくおめかし
してきたのに…
ザァアアアァ
伊達と朝奈には
悪いけど
止むまで雨宿り
すっか…
………
……

ねぇ れっくん
"サマーバレンタインデー"って知ってる?
七夕の今日もバレンタインデーと同じで女子が好きな男子にお菓子をあげる日なんだって
へ…へーそうだったんだー知らなかったなー…
それはそうとちょっと小腹が空いたかもなー なんて…
あれー 何その反応ー?
欲しいならそう言えばいいのに
ニヤニヤ
はい欲しいですっ!

でへっ
ゴメン☆
持ってくるの
忘れちゃった
何その
あからさまに
残念そうな顔
べ…別に…
そんな文化
まだ日本に定着
してないし 悔しく
なんてねーよ…
またまた
強がっちゃ
ってー
……
それじゃあ
もし雨が
上がったら

お祭りで買ってあげてもいいけど…っ
あ
お祭り…あるかもね
好きな人と両思いになれますように
きいら☆

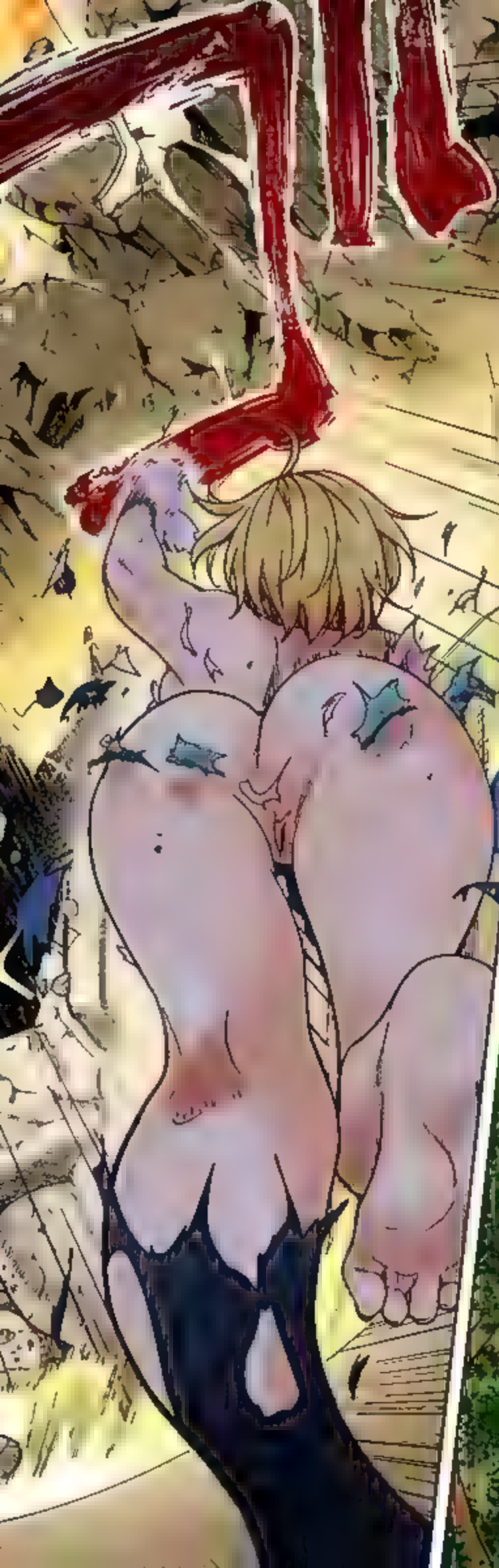
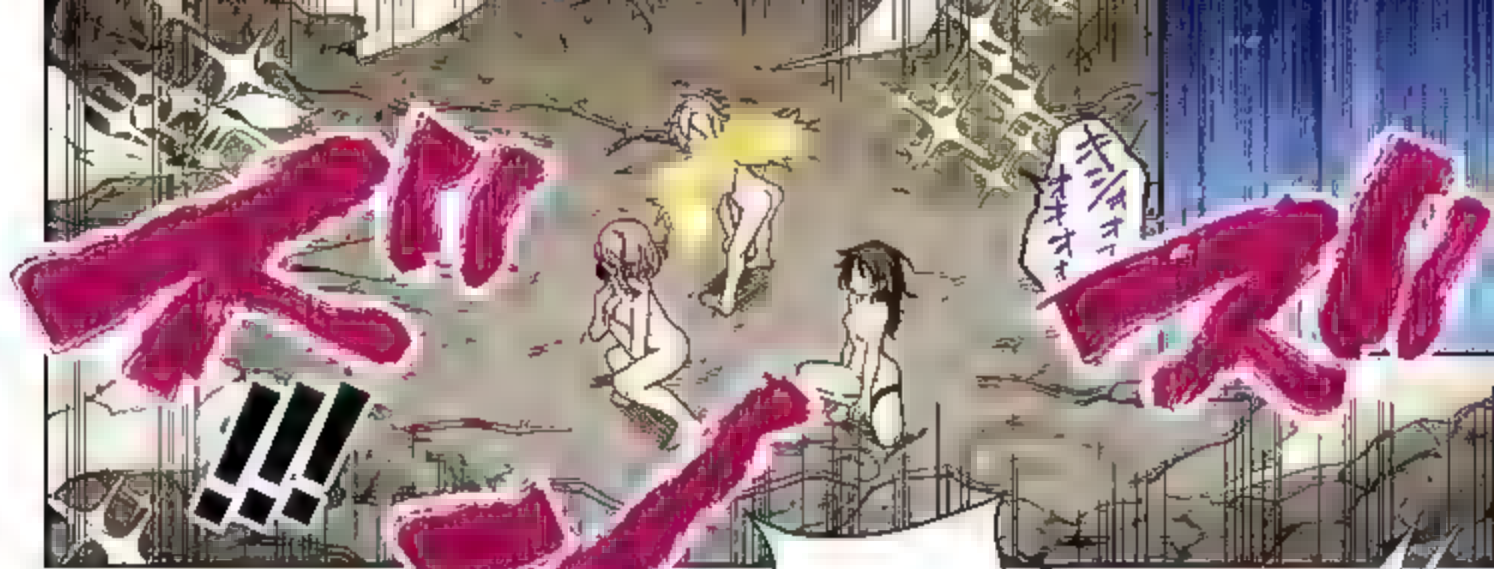
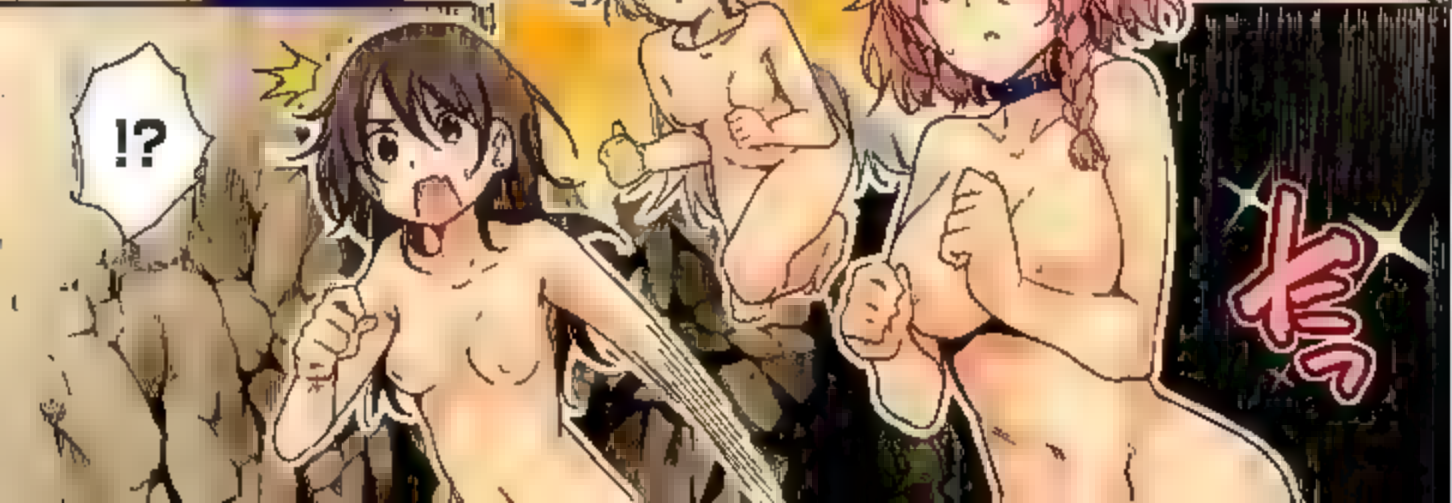
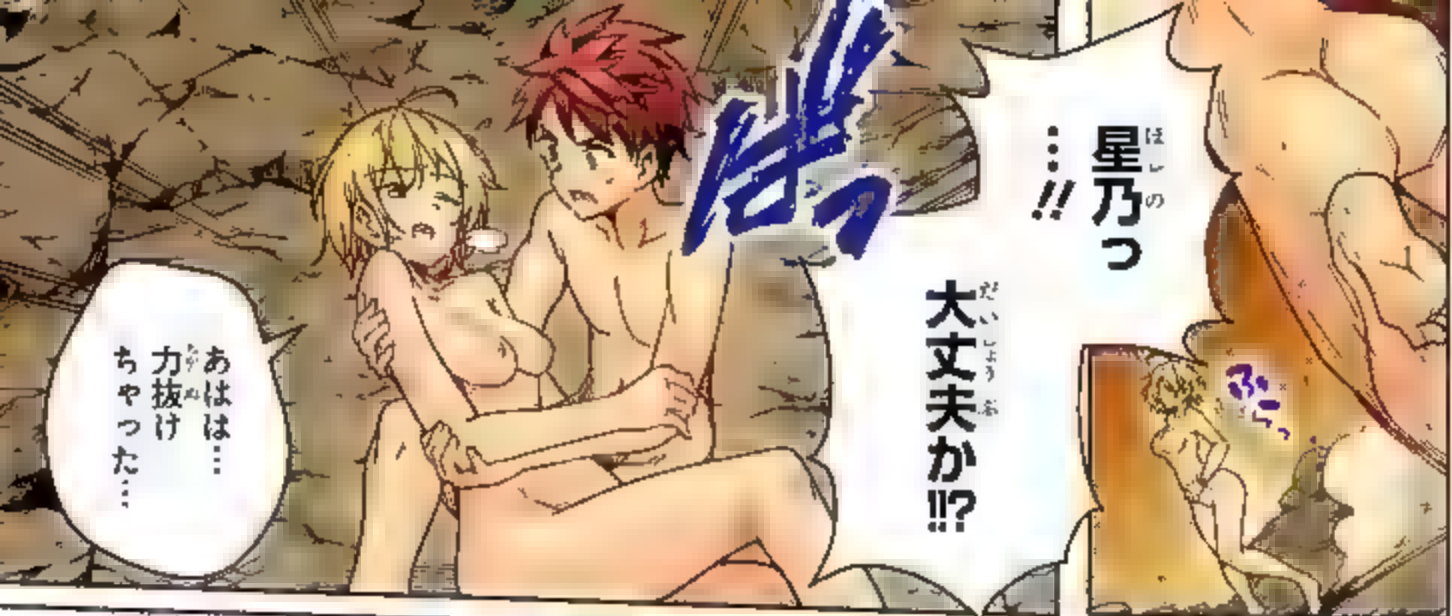
彼氏作って放課後はデートしたり

休日は家で二人っきりで過ごしたり

もっともっと充実した毎日を送るはずだったのに…！

いつかは
告白…
出来たかも
しれないのに
ーー
キショ？

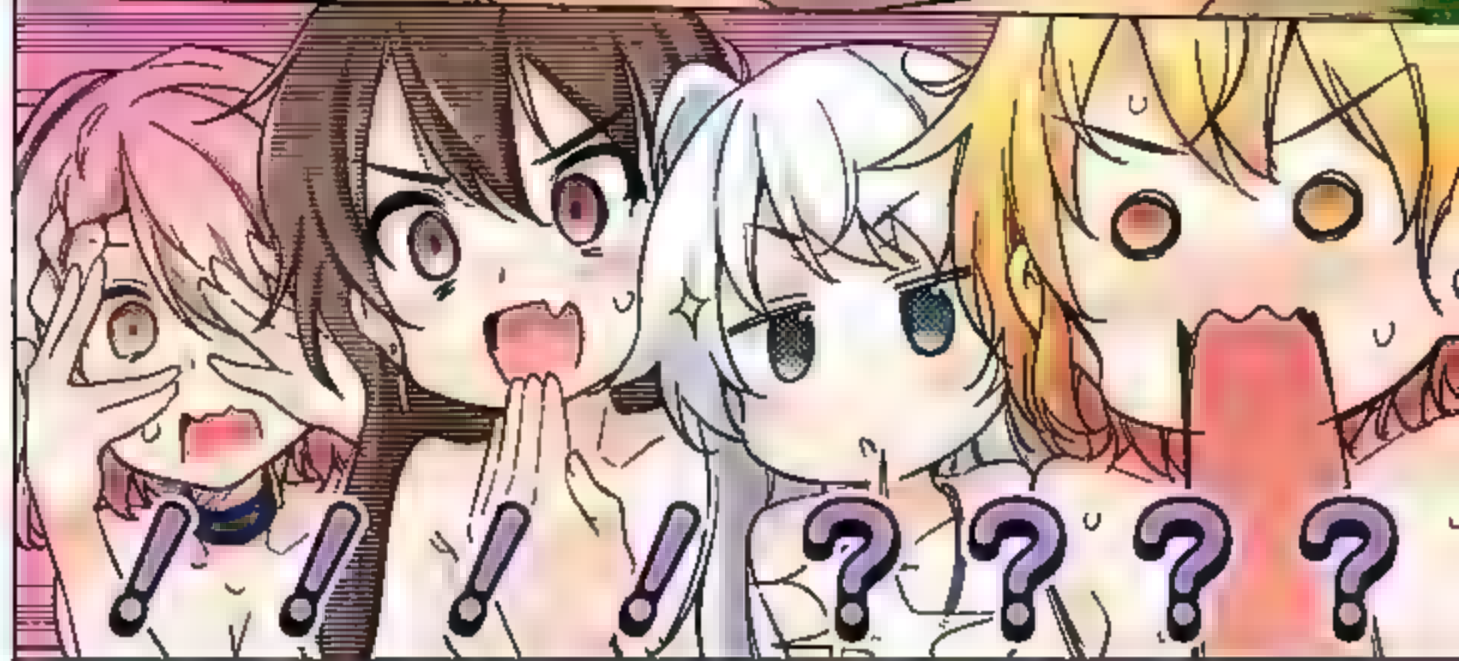
キシャオオオオォ
ズバーーン!!!
なんや今のHネルギーは……!?
もしかして…
雲母ちゃん……?

ふらっ
星乃っ…!!
大丈夫か!?
はっ
あはは…
力抜けちゃった…
ありがとうれっくん…
それで…
一つ…頼みがあるんだけど…
……!
だっ
!?

何やねんコレっ!?
雲母ちゃん！大丈夫っ!?
私は平気…まずはここから出ましょう…！
ゴゴゴゴ
そういえば炎城さんは……!?
あいつなら大丈夫
キララ…上手くやったようなのだ…
これでボクにも…
生まれた甲斐があったというものなのだ…

!!!
星乃から話は全部聞いた
一緒に行くぞ!
チャチャ

ガラ
ガラッ
ズヴゥゥゥン
炎城〜〜！
炎城さ〜ん！
烈人く〜ん

……どうしよう…
全部私の所為だ…
大丈夫きっと烈人は無事や
それに雲母のお陰でキセイ蟲を一網打尽に出来たんやから元気出しいや
ついに私達…
キセイ蟲に勝ったんですね…！
だ…誰かッッッ…！
この声…！
炎城っ!?

はらりっ
ほーこれが人間のオスというものか…
こっちはオスと違って固いのだ…♪
はぁッ…!?

お主たち…さっき キセイ蟲に勝ったとか言ってたのだが
巣を壊しても母上を倒さなければ無意味なのだ
ただ我々を倒せる人間が居たとは気に入った
プシューーッ
だから――
今日からボクがお前たちのHネルギーを鍛え直してやるのだ♡
エグゼロスのメンバー
現在人間5名
そんなことよりなんで私に騎乗してるのよ〜〜〜〜‼
＋キセイ蟲1体――

ド級編隊

エグゼロス

HXEROS

Extra Gallery

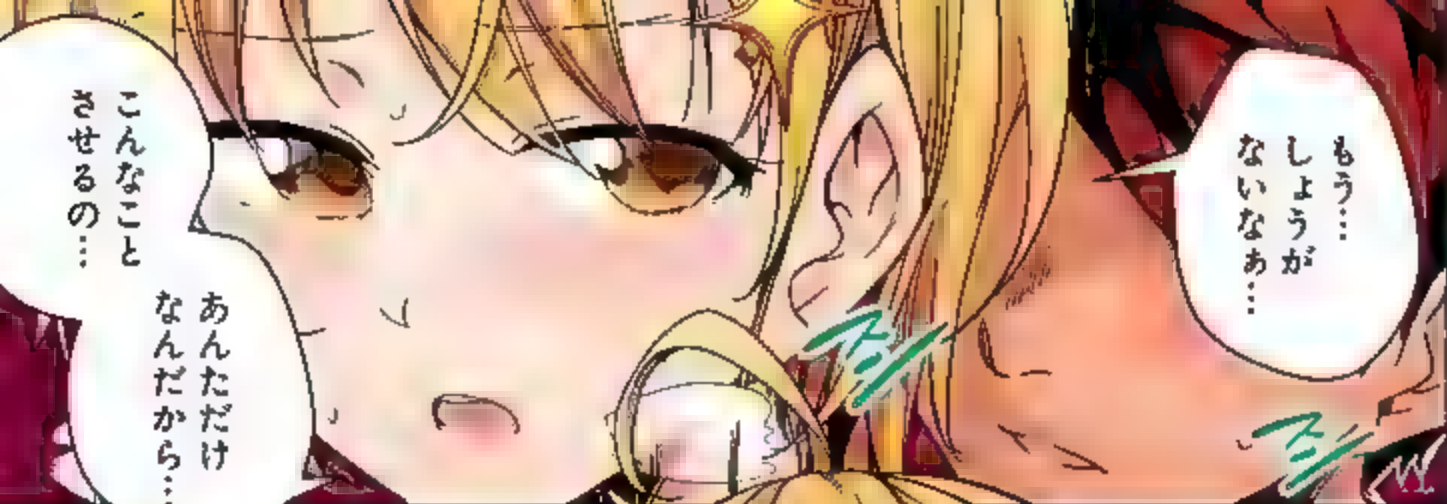
番外ギャラリー

# ド級編隊エグゼロス

EXEROS

第9話
新たな同居人(?)

……起きた？
やっと…
一緒になれたね…
さてと…そろそろ起きなくちゃ…
むくっ
なぁに～
また我慢出来なくなっちゃったの…？

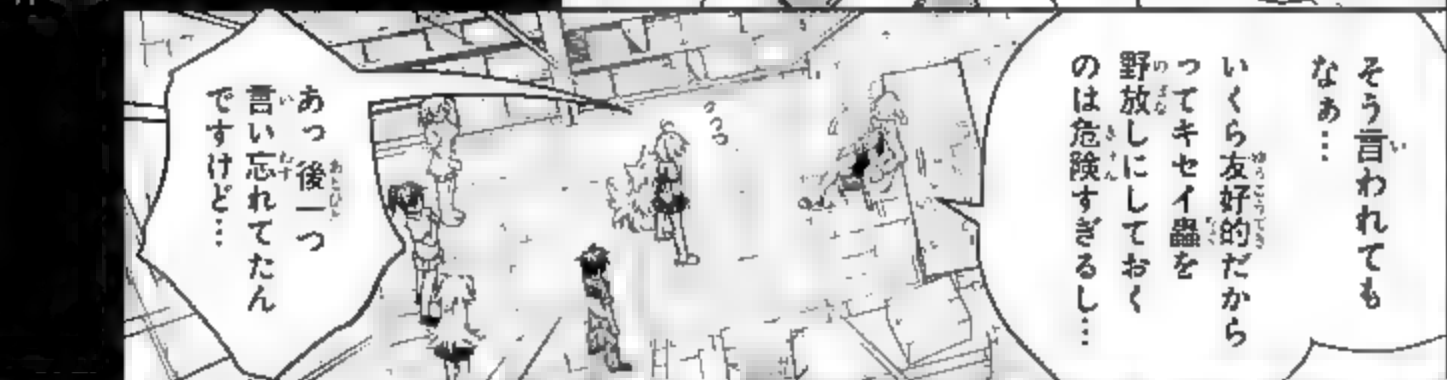
もう…しょうがないなぁ…
あんただけなんだから…こんなことさせるの…
っ…
ちょっ…がっつき過ぎ…！
キュッ
ヤッ…ちょっと～どこ舐めて——

やっぱ無理〜〜〜ッ!!!
急にどうしたのだ キララ!?
※チャチャ（擬態中）
別にこんなことの練習なんて頼んでないし…
そもそも私にはまだ早いから…！
チラッ
じーっ
?
なぜなのだ？
途中まではノリノリだったのに…
そんなことないからっ！
っていうか…

ここでは人に擬態するのは禁止って言ったでしょ！
しゅんしゅん
言われた通りルンバちゃんに擬態しなさい！
あーそう言えばそうだったのだ
そもそもこんなことしなくたって
キセイ蟲をやっつけたならもうHネルギーなんて溜めなくていいじゃない
前にも言ったのだ
母上を倒さない限りキセイ蟲の活動が止まることはないと
それにキララが言ったのだ
ボクが必要だって
そりゃあ確かに…
昨日はああ言ったけどさ…

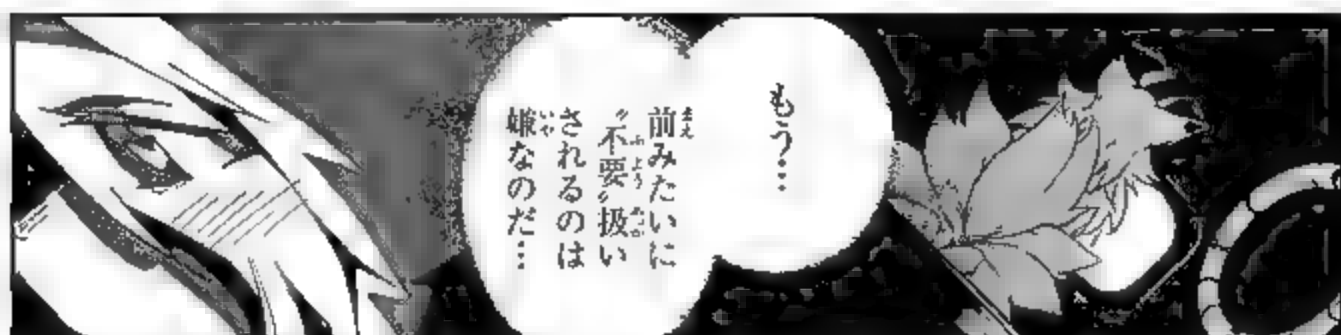
前日——
地球防衛隊サイタマ支部——
いやぁ良かった君たち…
心配してたんだよホントに
ごめん叔父さん…
やっぱ連絡すべきだったよな…
あの時は星乃を助けに行くことしか頭になくて…
いやいや…むしろ無事でよかった
それにしてもまさか雲母くんが——

二人になって帰ってくるなんてね
でもホントに彼女がキセイ蟲なのかい……？
コスプレした双子のギャルじゃなくて？
……
……見せてあげてチャチャ
かしこまったのだ！

おお…！
ストッ
ま…まさかとは思ったけど…
どうやら本物みたいだね…
冗談冗談…ともかくこれは対キセイ蟲にとって重要な第一歩だ
まずは研究材料として隔離して検査しないと…
どれどれ細部の方はどれくらい…
ペロン
エロオヤジこらアッ！
！

あのっ…！
私は ただ…この娘に外の世界を見せてあげたかっただけで…
お願いです…隔離とかそういうのは無しにしてもらえませんか…？
星乃さん…
雲母…
そう言われてもなぁ…
いくら友好的だからってキセイ蟲を野放しにしておくのは危険すぎるし…
あっ 後一つ言い忘れてたんですけど…
チャチャの体質はキセイ蟲と全くの正反対で
だから私達と居れば今までよりもっとすごいHネルギーが溜まるようになるかも──
その通りなのだっ…！
はっ!?

ぴたーん
のだっ!
たたたのた…
ずるっ
いやあああああああっ
なんや烈人みたいなやっちゃな…
どこがだよ…

ブラボーブラボー
プラシーボ！
パキパキ
まさか あの雲母くんが
心を入れ替えて
こんなに身体を張って
訴えてくれるなんて…
おじさん
感動したよ！
確かに君達と
一緒に居るのが
一番安全かも
しれないね…
今日の所は
連れて帰り
なさい
その代わり
さっきの
Hネルギーの話
よろしく
頼むよ
任せる
のだ！
大丈夫
かなぁ…

全くキララは
恥ずかしがり屋なのだ
ボクは早く
この能力を
役立てたい
のに…
もう…
前みたいに
不要扱い
されるのは
嫌なのだ…
ガチャッ
ん？
おはよう
チャチャ
よく眠れた
か？
俺なんて昨日の
疲れでまだ
くたくた
だよ…
今日が日曜で
ホントよかった
そう言えば
ボク…
昨日この人間に
助けられたの
だっけ…

よし…今度はボクがこの雄殿のお手伝いをするのだ！
レットと言ったかな…？
一つ聞きたいことがあるのだ…
ズバリお主のHネルギー源は何なのだ？
へっ？
そっ…それは考えたこともなかったな…
いつも気付いたら溜まってるって感じかな…
ははは
ふーん…
それじゃあ
ボクが代わりに見つけてあげるのだ
!?

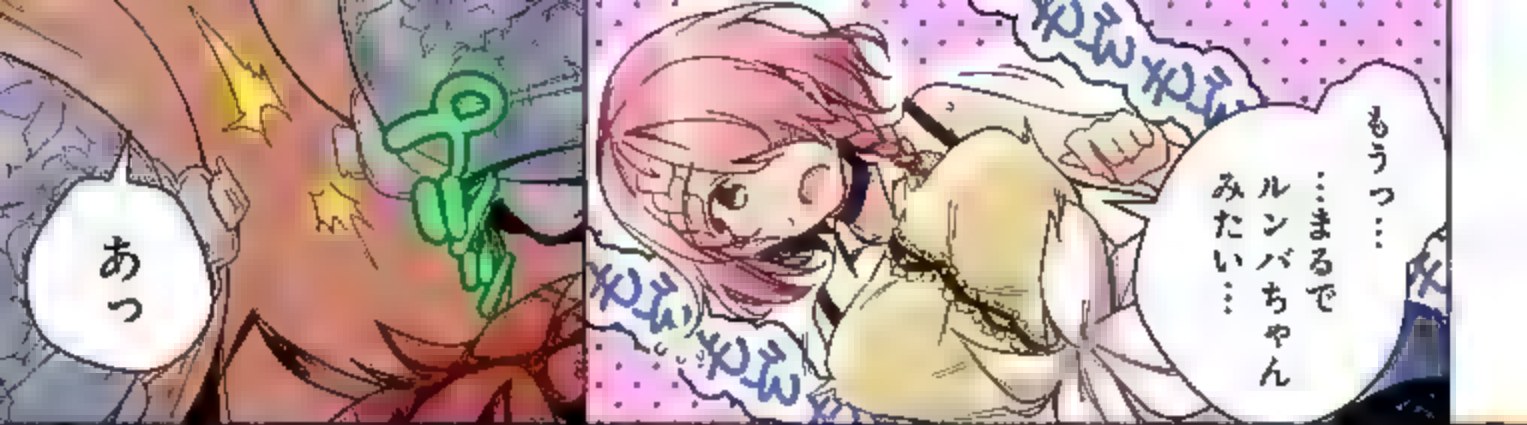
ニュゥゥゥゥ ゥゥゥゥ
…一体…
何が起こったんだ…？
…なんだか視線がめっちゃ低いような…
!!??
ドーン

ボクが擬態するとキララに怒られるから
レットの感覚をボクに合体させたのだ
はぁ!?
触手に変身させたり擬態したり合体したり…
なんでもありかこいつら…!
っていうかあれ…?
声が出せないし…身体も動かせないんだけど…
それな
人間は恥ずかしがると感情とは別の行動を取ってしまうようだから
ボクが直々に探ってやるのだ
さあレットのHネルギーの源を探りに出発なのだ――!
だっ
ええ〜〜〜〜っ!?

さて…まずはこの部屋から
はぁ…
この雌君の名前は何なのだ？
名前は白雪翡姫
ここのメンバーにしては一番おとなしくて大人な奴だよ
はら？
あの…
ひぃっキセイ蟲さん!?
な…何の用ですか…？
なんだかとても警戒されてるようなのだ…

それに白雪は
キセイ蟲が
苦手だからな
……
早く諦めて
元に戻せ
にゃーん♪
そんなのが
通用する訳…
やくん
かわいいく♡
白雪の奴…
いつもと全然
キャラ違うじゃ
ねーか…！
なぁに？
お姉さんと
一緒に遊びたい
の〜？♡
っていうか
身体が動かせ
なくても五感が
繋がってる分—

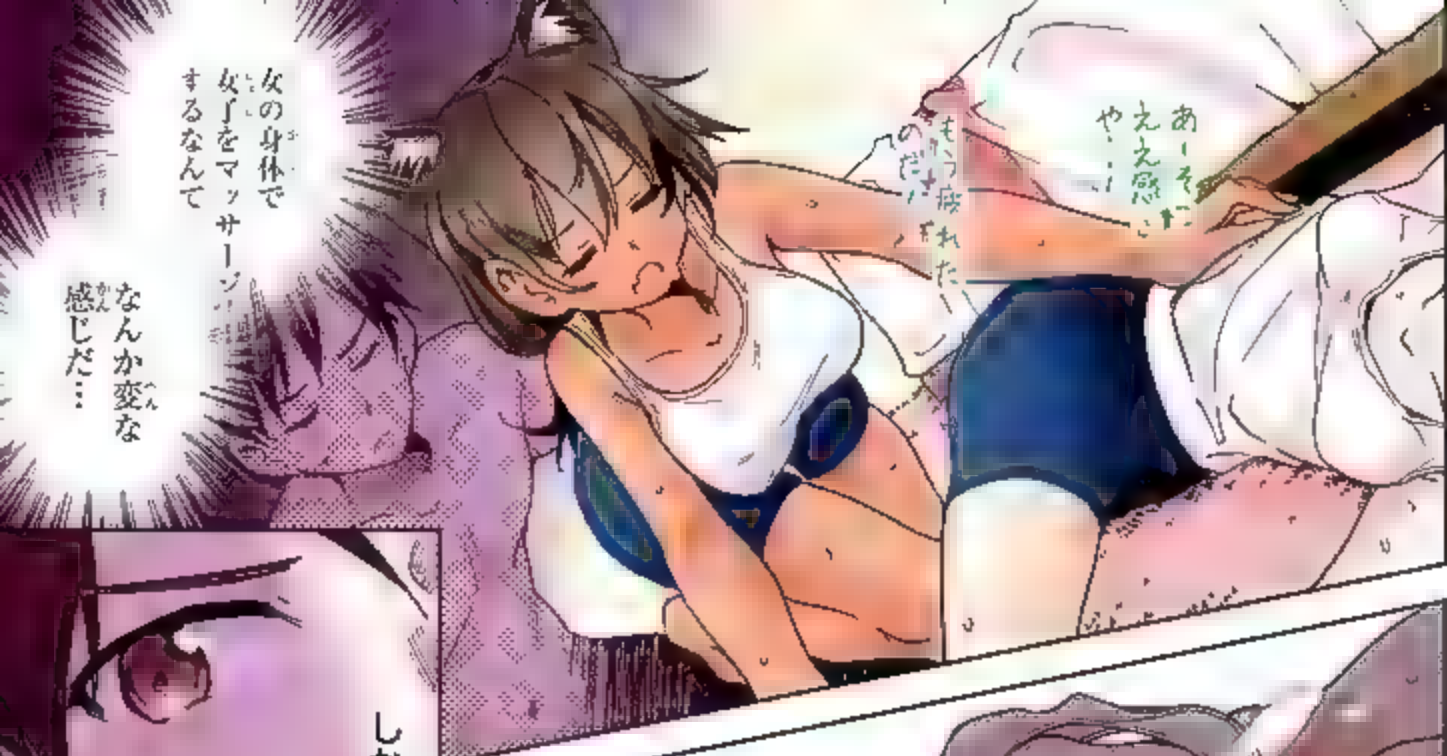
まるで俺が
白雪に抱かれてる
ような…
はッ!?
ヤバいヤバい
こんなことでHネルギーを感じる所だったぜ
恐るべき白雪…!
なるほど…
これじゃあ全然物足りないと言うのだ?
それじゃあ――
!?

もうっ…
…まるでルンバちゃんみたい…
あっ
あの…
そんなにじっと見られると恥ずかしいんですけど…
ドキ
ドキ
お…おいチャチャ…
俺の身体で何をする気だ…!?
やめっ…

ペロッ
ぱあんっ
!
ぱっ
…何…
今の…？
ルンバちゃんの時とは全然違う…
やっぱり星乃さんの言った通り…
チャチャちゃんの能力は本物だったんですね…!!♡

はーっ♡
はーっ…♡
ビクンッ
ビクンッ
しまったのだ…
レットのHネルギーを探るはずが
ヒメメのHネルギーを刺激してしまったみたいだのだ…
舌に…舌に白雪の胸の感触が…
しかし人間って不思議な生き物なのだな
生殖とは無関係な行為で発情出来る生物など今まで見たことがないのだ
仕方ない…次の部屋に行くのだ
まだ続ける気かよ…！

なんや？
一緒に遊んで欲しい？
のだ！
すまへんな
ウチ 今美容ストレッチで忙しいねん
ならボクが手伝うのだ！
おいおい、趣旨違くなってないか…？
せやなぁ…
ヒュー

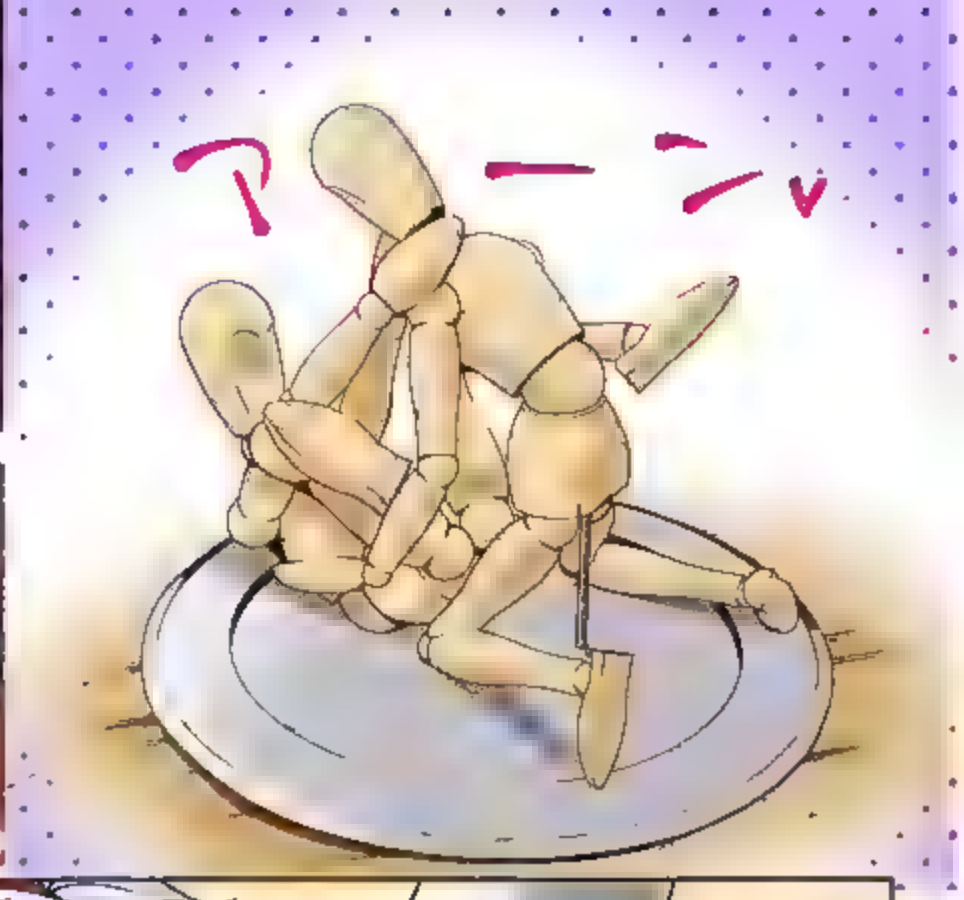
そんじゃ折角やし手伝ってもらおっかな
ただし…
一つ条件があるんやけど…
これで良いのだ？
ええやん！

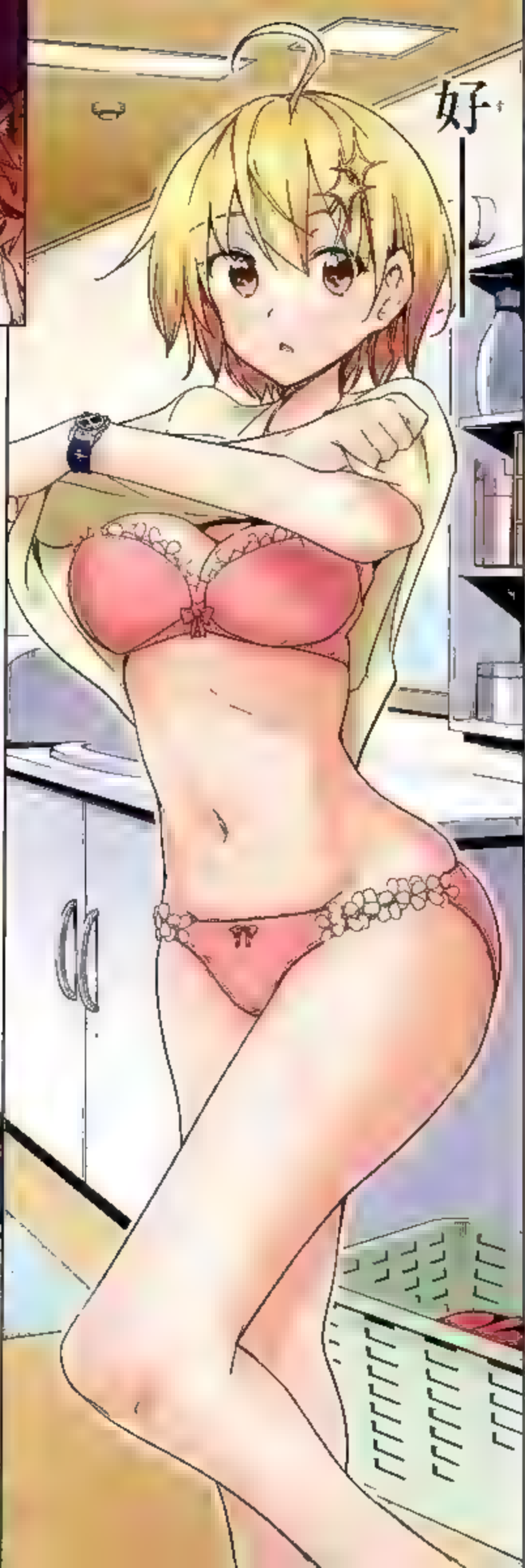
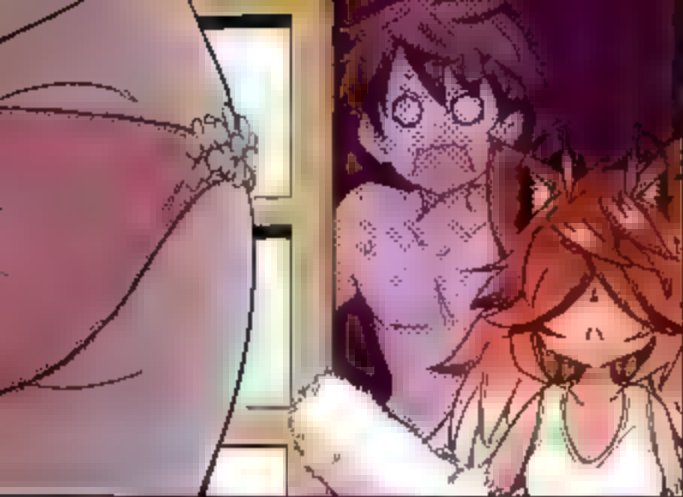
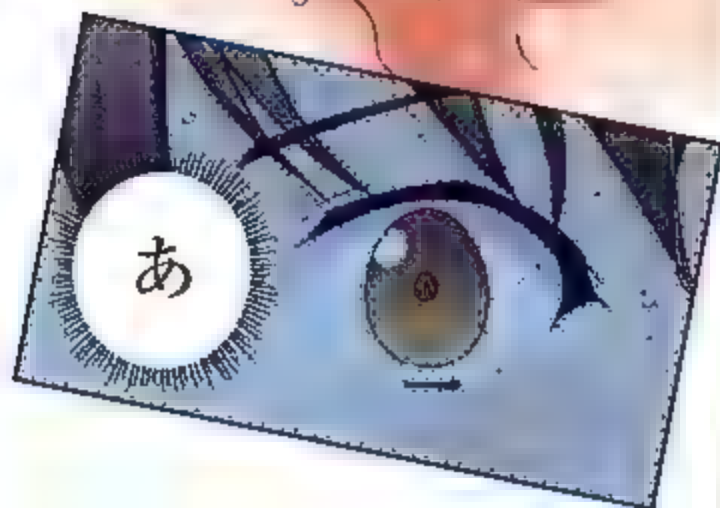
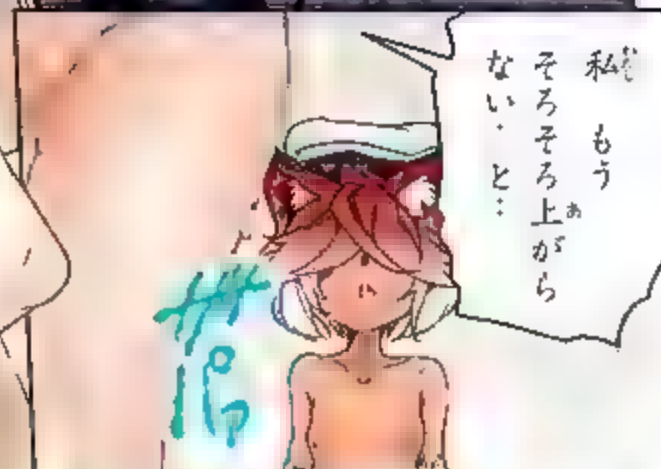
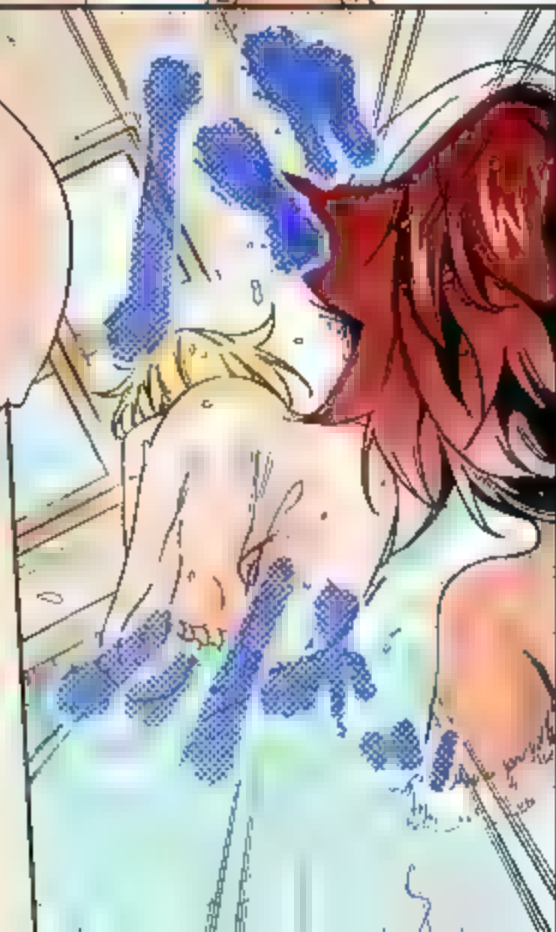
一度でいいからナイスバディの自分が見てみたかったんやー
ホンマおおきになー
スリ
スリ
悲しすぎるぞ桃園…！
美容ストレッチ特集
ごろん

あーそこ ええ感じ や…
もう疲れた のだ…
女の身体で女子をマッサージ するなんて
なんか変な感じだ…
しかも
やたらと無防備だし…
んっ…♡
はぁッ… はぁ…ッ
なんだか身体が熱くなってきてもうた…
おいチャチャ なんか桃園の奴変だぞ…？
今回はまだ何もしてないのだ…？
あ

多分汗が付いた所為なのだ…
汗にも同じ効果が!?
そういえば…
もっといい記事を見つけたんや
ここも押してくれへんか?
バストアップのツボ…♡
ドキ
ドキ
天渓
膻中
乳根

効、くッ〜♡
はーっ…
はーっ…
も…もう十分だろチャチャ…早く俺を元に戻してくれ…！
いや…そんなHネルギーじゃまだ十分とは言えないのだ…
それに…
ボクもなんだか楽しくなってきたのだ…！
おい

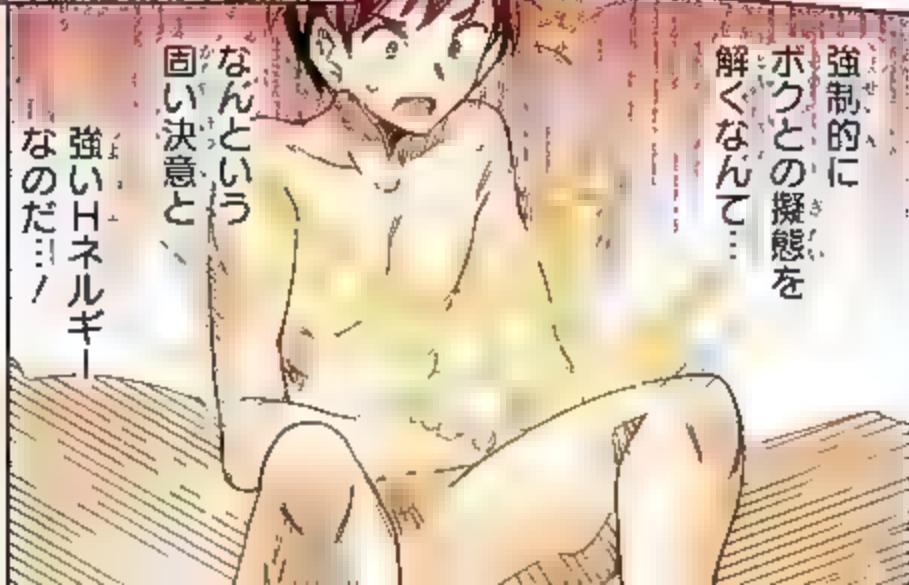
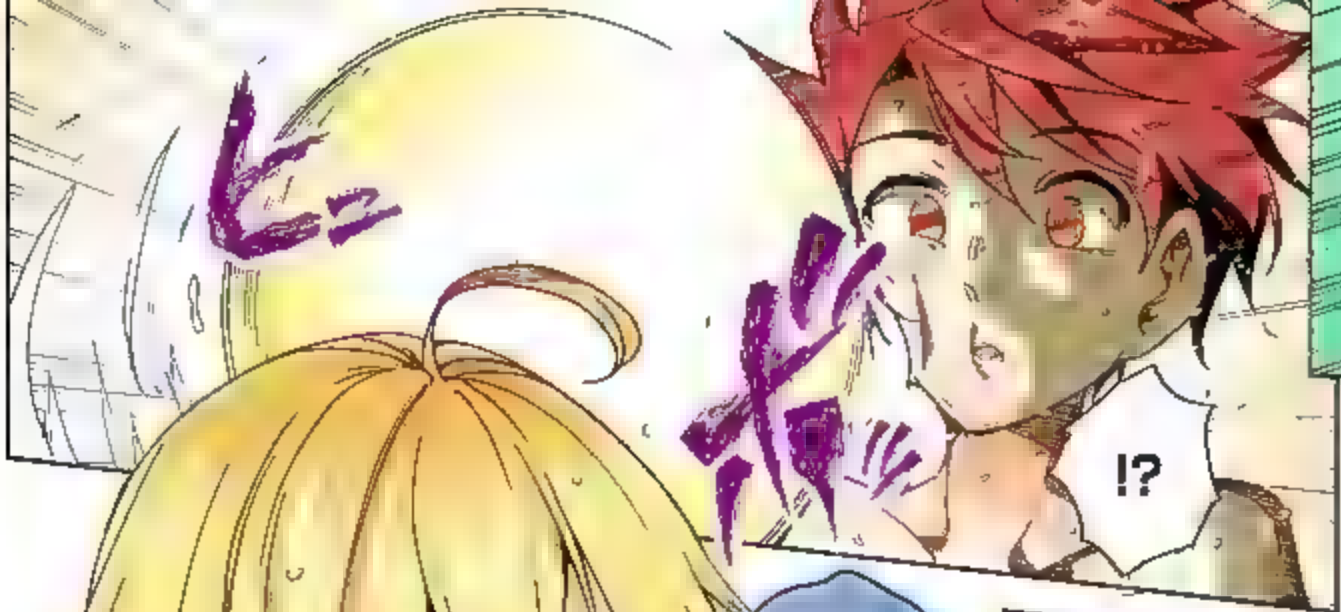
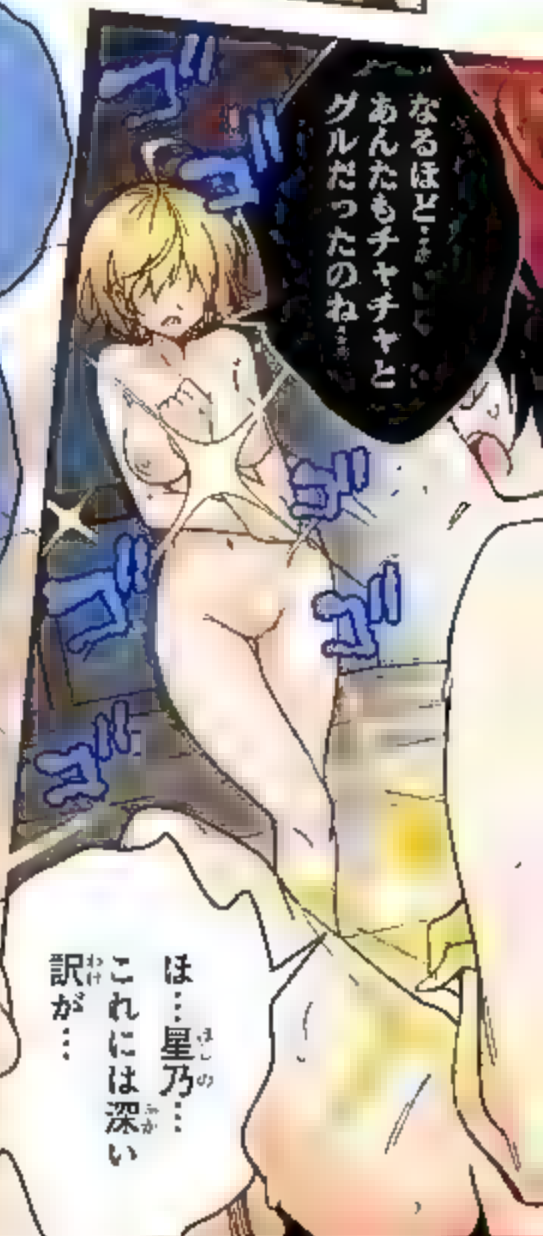
ばあんっ
ボクと遊ぼうなのだソラ!!
うわあっ!?
ノ…ノックくらいして…!
ぎぎっ
ん? 今何か隠したのだ?
何も隠してないっ…
いーや何か後ろに隠したのだ
おいっ止めとけって…天空寺も嫌がってるだろ…!
あっ!
だから隠してないってば…!

アーン♥
なんでぇ〜〜ッ!!!♡

ヒメメにモモカソララ…
しかし肝心のキララが見当たらないのだ…
……わかったよ…
全部白状する…
だからもうこんなことはよしてくれ…
!
さっきはHネルギーなんて興味がないフリをしたけど
ガッ
俺は本当は星乃のことが――

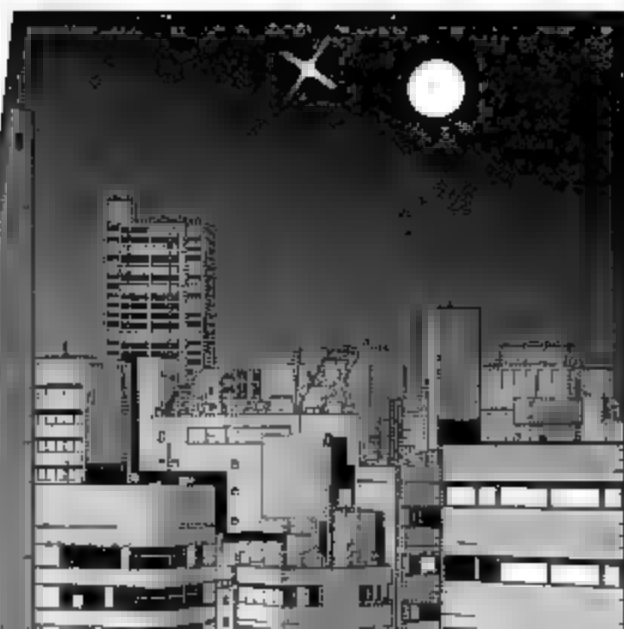
好—
キララ
こんな所で裸で
何をしてるのだ？
お風呂だけど…
地球のテレビが
見れてたんなら
知ってるでしょ？
ほー
ここが！
なんなら
一緒に入る？
へ？

あ～～っ 一度でいいからこうしてみたかったのだ～♪
もう… もとに戻るのもいいけど ここの人以外に見られないようにね？
まさか… チャチャの身体でとはいえ
あの星乃とまた一緒に風呂に入ることになるなんて…
あ

おいチャチャっ
早く風呂から
出ろッ！
あー？
どうした
のだ？
星乃っ
!?
汗が触れるのも
マズいのに一緒に
風呂なんかに
入ったら…
私もう
そろそろ上がら
ない・と…
ザパァ

チャンスなのだ
!?
お主はキララが好きなのだ?
やっぱ聞こえてたのか…
ここで今朝の続きをすればレットとキララ両方のHネルギーが溜まって…
おい… 何する気だ…!?
一石二鳥なのだ
やっ… やめ――

あれ、そこにいるの、
れっくんっ

やっ…
やっぱり無理だッ…
やっぱり俺…星乃とこういうことは…
ちゃんと自分の力だけでやり遂げたい…
俺のこいつへの気持ちは
Hネルギー目当てじゃないんだから
ガッ

も…戻った…！
この雄殿…
強制的にボクとの擬態を解くなんて…
なんという固い決意と強いHネルギーなのだ…！

!?
なるほど…あんたもチャチャとグルだったのね…
ええそうよ…昨日のお陰で
きちんと使いこなせるようになったみたい
ほ…星乃…これには深い訳が…
ていうかソレッ…!?

だから覚悟してね？

ズドム

キャアアアアアアア…

どうやらコッチがキセイ蟲の巣の破壊と捕虜の確保に成功したらしく
暫くはキセイ蟲の侵攻は食い止められそうです
やっぱり頭の固い〝トーキョー支部〟は
いえ…それはまだ確認出来ていません
はい…
…はい…
では失礼します
うーん…
……まいったな

キセイ蟲を
仲間にするなんて
許さないか…
ド級編隊エグゼロス②(完)

ド級編隊エグゼロス セミカラー版

2巻

きただりょうま



初版発行　　　　2017年
デジタル版発行　2018年

発行所　集英社
http://www.shueisha.co.jp

この作品は、著者カラー原画に加え、著者の原画をもとに集英社で一部デジタル彩色を行った特別編集版です。

背表紙・カバー折り返し

※表記はコミックス発売当時のものになります。

本体・表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。

EXTRA PAGES

本体・裏表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。